

令和5年度（令和4年度対象）  
**松島町教育委員会教育行政点検評価報告書**

令和5年9月  
松島町教育委員会

## ～はじめに～

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、町議会に提出するとともに、これを公表する義務があります。

松島町教育委員会は、法の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆さんへの説明責任を果たすため、学識経験者の知見を活用し、教育委員会事務の点検及び評価を実施し、報告書としてまとめました。

本報告書は、課題や今後の改善方策を明らかにするとともに、効率的かつ効果的な教育行政の推進を図ることを目的に編纂されています。

第1章には松島町教育委員会の会議について、第2章には松島町教育基本方針と基本施策について、第3章には教育行政点検評価について取りまとめました。これらを踏まえ、より良い松島町の教育の実現に向けてしっかりと取り組んでまいります。

令和5年9月

松島町教育委員会

## 関係法令

◎地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

－ 目 次 －

<b>第1章</b>	<b>令和4年度教育委員会議・教育委員の研修</b>	
1	会議開催内容及び結果	- 1 -
2	教育施設訪問及び会議・研修等	- 3 -
3	教育委員会議・教育委員の研修	- 5 -
<b>第2章</b>	<b>松島町教育委員会基本方針・基本施策</b>	
1	本町教育のめざす姿	- 7 -
2	本町教育の基本方針	- 7 -
3	本町教育の基本施策	- 8 -
<b>第3章</b>	<b>令和4年度松島町教育行政点検評価</b>	
1	基本施策1：幼児教育の充実	
(1)	元気な心と体の育成	- 9 -
(2)	幼保小中高の連携推進	-11-
(3)	家庭の教育力向上支援 ～家庭でつくる親子の時間～	-12-
(4)	地域で支える子育ての支援	-13-
(5)	まつしま防災学（幼児期）の推進	-14-
2	基本施策2：学校教育の充実	
(1)	一人一人の児童生徒への確かな学力の保証	-15-
(2)	夢と感動のある学校づくり	-17-
(3)	心身ともに健全な児童生徒の育成	-20-
(4)	松島の歴史と文化を学ぶ活動の充実	-24-
(5)	まつしま防災学の強化	-25-
3	基本施策3：地域文化の継承と創造	
(1)	歴史と文化と地域を学ぶ学習の推進	-27-
4	基本施策4：生涯学習の推進	
(1)	地域で支える家庭教育の推進	-29-
(2)	芸術文化活動の充実促進	-31-
(3)	国際感覚を培う生涯学習	-32-
5	基本施策5：町民総スポーツの推進	
(1)	スポーツをとおした地域・世代間交流の推進	-33-
(2)	体力づくりの推進	-34-
(3)	観るスポーツの推進	-35-
(4)	スポーツをとおした心と体の健康	-35-
<b>第4章</b>	<b>学識経験者による意見</b>	
	令和4年度対象松島町教育委員会教育行政点検評価報告書についての意見書	-36-

## 第1章 令和4年度教育委員会議・教育委員の研修

### 1 会議開催内容及び結果

会議種別	日時及び場所	案 件	結 果
4月定例会	4月28日(木) 役場3階 301会議室	報告・協議事項のみ	
5月臨時会 (秘密会)	5月27日(金) 役場3階 301会議室	議案第1号 教育委員会事務局の職員の任免について	原案可決
5月定例会	5月27日(金) 役場3階 301会議室	議案第2号 令和4年度松島町一般会計補正予算(教育委員会関係分)について	原案可決
6月定例会	6月24日(金) 役場3階 大会議室	報告・協議事項のみ	
7月臨時会 (秘密会)	7月8日(金) 書面会議	議案第3号 令和5年度使用教科用図書採択計画について	原案可決
7月臨時会 (秘密会)	7月29日(金) 役場3階 302会議室	議案第4号 令和5年度使用教科用図書の採択について	原案可決
7月定例会	7月29日(金) 役場3階 302会議室	報告・協議事項のみ	
8月定例会	8月26日(金) 役場3階 301会議室	議案第5号 松島町指定有形文化財の指定について 議案第6号 松島町立幼稚園々則の一部改正について 議案第7号 令和3年度松島町一般会計決算認定(教育委員会関係分)について	原案可決 原案可決 認 定
9月臨時会 (秘密会)	9月30日(金) 役場3階 301会議室	議案第8号 教育委員会職員の任免について	原案可決
9月定例会	9月30日(金) 役場3階 301会議室	議案第9号 令和4年度(令和3年度対象)松島町教育委員会教育行政点検評価報告書について	原案可決
10月定例会	10月28日(金) 役場3階 301会議室	報告・協議事項のみ	
11月定例会	11月25日(金) 役場3階 301会議室	議案第10号 松島町立学校の設置に関する条例の一部を改正する条例について 議案第11号 指定管理者の指定について(松島町B&G海洋センター及び松島町民グラウンド) 議案第12号 令和4年度松島町一般会計補正予算(教育委員会関係分)について	原案可決 原案可決 原案可決

会議種別	日時及び場所	案 件	結 果
12月定例会	12月23日(金) 役場3階 301会議室	報告・協議事項のみ	
1月定例会	1月26日(金) 役場3階 大会議室	議案第13号 松島町立幼稚園々則の一部改正について	原案可決
2月臨時会 (秘密会)	2月10日(金) 役場 教育長室	議案第14号 県費負担教職員たる校長及び教頭の任免内申について	原案可決
2月定例会	2月24日(金) 役場3階 301会議室	議案第15号 松島町教育委員会組織規則の一部改正について 議案第16号 松島町教育委員会会議傍聴人規則の一部改正について 議案第17号 松島町立学校の管理に関する規則の一部改正について 議案第18号 令和4年度松島町一般会計補正予算(教育委員会関係分)について 議案第19号 令和5年度松島町一般会計予算(教育委員会関係分)について	原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決
3月臨時会 (秘密会)	3月24日(金) 役場3階 302会議室	議案第20号 教育委員会事務局の職員及び教育機関等の職員の任免について	原案可決
3月定例会	3月24日(金) 役場3階 302会議室	議案第21号 松島町教育振興基本計画(第二期)(案)について	原案可決

## 2 教育施設訪問及び会議・研修等

日 時	行 事 名	場 所
4月4日(月)	松島町立小・中学校教職員宣誓式	松島町役場3階 大会議室
4月9日(土)	松島町立中学校入学式	松島中学校
4月11日(月)	松島町立小学校入学式	各小学校
	松島町立幼稚園入園式	各幼稚園
4月13日(水)	仙台管内教育委員会教育長会議	仙台合同庁舎
5月21日(土)	松島町立小学校運動会	各小学校
5月27日(金)	学校経営方針に係る意見交換会	松島町役場3階 大会議室
6月5日(日)	第60回町民ふれあいスポーツ大会	町民グラウンド
6月10日(金)	教科用図書展示会(～6/29)	多賀城市立図書館
7月1日(金)	二市三町教育委員会教育長会議	松島町役場2階 教育長室
7月5日(火)	仙台管内教育委員会教育長会議	仙台合同庁舎
7月26日(火)	松島町教育講演会	松島町文化観光交流館
8月8日(月)	宮城県教育委員会・市町村教育委員会 教育懇話会(圏域別会議)	宮城県自治会館
8月26日(金)	二市三町教育委員会教育長会議	七ヶ浜町役場
8月31日(水)	仙台管内教育委員会教育長会議	仙台合同庁舎
10月12日(水)	仙台管内教育委員会教育長会議	ホテル白萩
10月21日(金)	二市三町教育委員会教育長会議	利府町役場
	松島町PTA連合会・教育委員会 懇談会	松島町役場3階 大会議室
10月22日(土)	松島中学校運動会	松島中学校
10月30日(日)	2022松島町文化観光交流まつり	松島町文化観光交流館

日 時	行 事 名	場 所
11月15日(火)	宮城県教育委員会・市町村教育委員会 教育懇話会(全体会議)	ホテル白萩
11月18日(金)	宮城県町村教育長会第2回役員会・研修会	宮城県自治会館
12月23日(金)	二市三町教育委員会教育長会議	塩竈市役所
1月8日(日)	第74回松島町成人式(二十歳を祝う会)	松島町文化観光交流館
1月13日(金)	仙台管内教育委員会教育長会議	ホテル白萩
1月23日(月)	宮城県市町村教育委員・教育長研修会	岩沼市民会館
2月2日(木)	二市三町教育委員会教育長会議	多賀城市役所
2月7日(火)	仙台管内教育委員会教育長会議	仙台合同庁舎
	仙台管内教育委員会協議会研修会	松島町文化観光交流館
3月9日(木)	松島中学校卒業証書授与式	松島中学校
3月15日(水)	松島町立幼稚園卒園式	各幼稚園
3月17日(金)	松島町立小学校卒業式	各小学校
3月22日(水)	仙台管内教育委員会教育長会議	ホテル白萩
3月24日(金)	松島町総合教育会議	松島町役場2階 202会議室
3月28日(火)	松島第二幼稚園閉園式	松島第二幼稚園
3月30日(木)	松島町立小・中学校教職員離任式	松島町役場3階 大会議室

3 教育委員会議・教育委員の研修

【担当課：教育課学校教育班】

<p>教育委員会議、教育委員の研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方自治法第180条の5及び8</li> <li>・地方教育行政の組織及び運営に関する法律第2条</li> <li>・松島町教育委員会会議規則</li> </ul>		
<p>事業目的と概要</p> <p>① 松島町教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき市町村に設置される執行機関であり、その代表者である教育長と4人の委員で構成される。委員は人格が高潔で教育・学術・文化及びスポーツに関し、識見を有する者で町長が町議会の同意を得て任命する。                  教育長は、町長が議会の同意を得たうえで任免する。また、教育長は教育委員会の代表として位置づけられ、教育委員会委員の指揮監督に当たり、教育委員会の会議を主宰する。                  教育長が欠けたときのため、あらかじめ教育長職務代理者を委員の中から選任する。                  これらの事務を処理するため、教育委員会に事務局が置かれ、「松島町教育振興基本計画」「松島町の教育」に沿って施策を執行及び管理する。</p>		
<p>事業実施状況</p>	<p>事業の効果</p>	<p>事業の課題・改善策</p>
<p>① <b>教育委員会定例会・臨時会</b>                  ※令和4年度松島町教育委員会議開催内容及び結果については、別表参照。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松島町教育委員会会議規則に基づき、定例会議を毎月1回、計12回開催した。</li> <li>・定例会は、議事日程に基づき行われ、一般事務報告では、教育委員会事務局及び教育機関の事務事業の状況を報告し、教育長報告では、宮城県仙台教育事務所管内教育長会議内容、町内定例校長会や教頭会での各学校との情報交換、諸問題解決のため指示・指導助言についての報告を行った。</li> <li>・議事については、教育長に対する事務委任規則に基づき、教育委員会に議案を21件提出し、各教育機関からの提案に対し、教育委員による適切な審議を経て全議案が可決された。</li> <li>・臨時会は、計6回開催した。議案を6件提出し、全議案が可決された。</li> </ul>	<p>① 教育委員会の設置目的である教育、学術及び文化に関する事務を合議制の独立した執行機関として教育委員会定例会議や総合教育会議等を通して、町の教育行政充実に取り組むことができた。</p>	<p>① 研修会や会議等で得た知識や情報等を更なる教育行政発展に役立てることができるよう、定例会等を通し、課題や目標及び進捗状況等の意見交換を行う機会を充実していきたい。</p>



<p>① <b>教育委員会教育施設訪問及び会議・研修等</b>  ※令和4年度教育委員会教育施設訪問及び会議・研修等については、別表参照。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育委員会委員は、町長と教育委員会が相互の連携を図り、より一層の民意を反映した教育行政を推進していくための総合教育会議に参加した。</li> </ul>	<p>① 新型コロナウイルス感染症拡大により中止となる研修会もあったが、感染対策を講じ会議等に参加したことにより、教育委員としての資質向上と町の教育行政の充実に取り組むことができた。</p>	<p>① 新型コロナウイルス感染症拡大防止策を徹底させたうえで各種研修等を実施し、現状の把握やそれぞれの課題に対する指導助言を行うことで学校教育の充実と生涯学習の推進を図っていきたい。</p>
---	---	--

## 第2章 松島町教育委員会基本方針・基本施策

本町の今後10年間の教育の理念と指針を定めた松島町教育振興基本計画（平成25年3月策定）に基づき、町民として日々成長する望ましい姿・めざす姿を実現するために以下の教育基本方針のもと、5つの基本施策（平成29年度版）を示し、町民の生涯学習の充実と進展を図るべく、松島の歴史と文化の継承と創造を推し進めるとともに「幼児教育・学校教育の向上」及び「地域や家庭における教育の再生と活性化」を達成する町民総参加型の教育振興を推進していく。

### 1 本町教育のめざす姿

#### 『誇りと絆を育みしなやかに生きる松島人』

- 松島を愛し、一人一人が自信と誇りを持った個性豊かな松島人
- 学校・家庭・地域において学び合い、支え合う絆を大切にする松島人
- 新たな時代をしなやかに力強く生き抜く松島人

【松島町教育振興基本計画より】

### 2 本町教育の基本方針

松島町教育振興基本計画を体系的に推進するために、下記の基本方針を定めた。

#### 「松島で生きて 松島を大切にし 豊かな心を育てる」

基本方針Ⅰ：社会全体で協育し、笑顔あふれる松島人を育成する

基本方針Ⅱ：学校・家庭・地域が協働し、夢と志を育み、しなやかに力強く生き抜く松島人を育成する

基本方針Ⅲ：松島の豊かな教育資源に学ぶ教育活動を推進し、郷土の景観に誇りを持ち、新たな文化を創造する松島人を育成する

基本方針Ⅳ：生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動を推進し、健康で豊かな人生を送れる松島人を育成する

### 3 本町教育の基本施策

#### 基本施策1：幼児教育の充実

『元気でのびのびとし、表現豊かな松島っ子の土台づくり』

##### 幼児期における目指す子ども像

- 健康で元気な笑顔あふれる子ども
- すなおで思いやりのある子ども
- 自分で考え行動し、自分を表現できる子ども

#### 基本施策2：学校教育の充実

『未来の松島を担う、夢と志を持ち、誇りと自信に満ちた児童生徒の育成』

##### 育みたい児童生徒の姿

- 松島に学び、松島を誇りに思い、松島の未来を担おうとする気概を持つ人間
- 国際化、情報化など変化の激しい時代を心豊かにたくましく生きる人間
- 正義と良識を重んじ、支え合い共に生きようとする人間

#### 基本施策3：地域文化の継承と創造

『歴史と文化を継承し、文化遺産の保護と活用を図った教育の推進』

#### 基本施策4：生涯学習の推進

『協働による家庭教育、地域活動の推進』

#### 基本施策5：町民総スポーツの推進

『スポーツをとおした町民の活力と地域の活性化』

第3章 令和4年度松島町教育行政点検評価

1 基本施策1：幼児教育の充実『元気でのおびのびとし、表現豊かな松島っ子の土台づくり』

【担当課：教育課学校教育班（幼稚園）】

基本施策1：幼児教育の充実 (1) 元気な心と体の育成		
事業目的と概要		
◎心身ともに健康な幼児の育成 ①幼児の身体能力向上（体づくり運動の活用、外遊びの推奨） ②ALTによる国際理解教育の実施（英語教育の推進、英語遊びの実施） ③施設の整備と管理の充実 ④絵本・読書教育の推進 ⑤基本的な生活習慣・食育・むし歯予防の推進（新型コロナウイルス感染症対策の取組） ⑥親子の心の健康をサポートする相談体制の充実 ⑦園外保育・自然体験学習の充実		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① 幼児の身体能力向上に向けて、マリソル松島によるボール遊びを実施した。（各幼）	① 体を動かす楽しさを味わうとともに、ボールの扱い方、様々な体の動かし方など自ら積極的に体を動かす機会が多くなった。（各幼）	① 継続的に実施できるように各団体に協力を依頼していく。（各幼）
① 踊育につながるダンスなどの表現活動を保育の中で実施した。（各幼）	① 幼児が楽しんで表現活動を行うことができた。（各幼）	① 踊育活動を継続していく。（各幼）
② ALTによる英語遊び（DVD・歌遊び）を通して外国人との交流を実施した。（各幼）	② 英語遊びで学んだことを、遊びや生活の場で口にしたたり、歌・ダンスなどを保育の中に取り入れたりして、英語が身近なものになった。（各幼）	② 新型コロナウイルス感染症対策をしながらALTによる英語で遊ぼうを実施していく。（各幼）
④ 帰りの会の中で絵本や紙芝居の読み聞かせを実施した。また、園内に絵本コーナーを増設して幼児が好きな本を読む機会を増やした。（各幼）	④ 絵本による想像力の育成につながった。（各幼）	④ ボランティアに協力を依頼し、読み聞かせの会を開催していく。（各幼）
④ 人形劇鑑賞を実施した。（一幼・二幼）	④ 昔話の人形劇を見たことで、よりお話に興味を持つようになった。（一幼・二幼）	④ 年1回でも年間計画の中に取り入れ実施していく。（各幼）
⑤ 「しっかり寝ル・きちんと食ベル・よく遊ブで健やかに伸びル」という「みやぎっ子ルルブル推進事業」や「キッズチャレンジ」を活用し基本的な生活習慣の定着促進を図った。（各幼）	⑤ 「みやぎっ子ルルブル推進事業」「キッズチャレンジ」などを活用したことで家庭教育の意識改善ができた。（各幼）	⑤ 生活習慣がさらに定着するよう園だよりなどで啓発活動に努めていく。（各幼）
⑤ 園の畑でサツマイモ・にんじん・枝豆を栽培した。（各幼）	⑤ サツマイモや枝豆の栽培した野菜を園で食したことで食に関する意識を高めることができた。（各幼）	⑤ 栽培に関する知識を高め、収穫による成功体験ができるようする。（各幼）

<p>⑤ 健康観察カードでの検温の徹底と手洗い・消毒を励行した。(各幼)</p>	<p>幼) ⑤ 幼児自身や保護者の意識も高まり、感染対策に効果があった。(各幼)</p>	<p>⑤ 新型コロナウイルス感染症対策を継続していく。(各幼)</p>
<p>⑥ 子育てに不安を感じた親子に対して相談を重ね、関係機関につなげた。(各幼)</p>	<p>⑥ 子育て支援センターの子育て相談で臨床心理士のアドバイスを受けたことで保護者の不安解消となり、担任との連携も深まった。(各幼)</p>	<p>⑥ 保護者や園全体、関係機関との共通理解を深めながら、継続的な支援を行う。(各幼)</p>
<p>⑦ 散歩の際に積極的に身近な自然に触れる機会を設けた。(各幼)</p>	<p>⑦ 自然に触れることで、様々な発見や知的好奇心を育む活動となった。(各幼)</p>	<p>⑦ 園周辺の散策を含め今後も継続して実施していく。(各幼)</p>
<p>⑦ 園外保育で『TRAIN SUITE四季島』や『うみの杜水族館』の見学へ出かけた。(各幼)</p>	<p>⑦ 人々と触れ合い、感性への刺激や様々な発見、知的好奇心を育む活動となった。(各幼)</p>	<p>⑦ 関係機関の情報を得ながら機会を捉え、今後も継続して実施していく。(各幼)</p>

基本施策1：幼児教育の充実 (2) 幼保小中高の連携推進		
事業目的と概要 ◎各幼稚園間及び保育所、小学校、中学校、高等学校との連携や交流の推進 ①幼稚園・保育所・小学校等の相互の交流事業の実施（小学校教育への円滑な接続に向けたアプローチカリキュラムの実践） ②幼保合同の幼児教育の研究・開発 ③特別支援の早期体制づくりと連携による支援 ④中学生・高校生等の保育ボランティア・保育体験の実施		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① 小学校の校舎や授業を見学し年長児が就学に向け小学校見学を実施した。(各幼)  ① 保幼小連絡会で幼児の情報交換を行った。(各幼)  ② 保育所と共同してアプローチカリキュラムの研究を行った。(各幼)  ③ のびっこクラブを通し、早期体制作りの保護者サポートを行った。(各幼)  ③ 巡回相談を活用し、教諭のスキルアップと園全体の支援体制の見直しを図った。(各幼)  ④ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった。(各幼)	① 就学への不安を減らし期待を高めることができた。(各幼)  ① 小学校教育への円滑な移行に向け教師間で共通理解が図られた。(各幼)  ② 小学校行事へ参加することにより共通理解が図られた。(各幼)  ③ 臨床心理士のサポートを受け教諭や保育士が連携しのびっこでの保護者支援を行った。(各幼)  ③ 専門家からの助言・指導により、教諭自身のスキルアップにつながった。(各幼)	① 今後も継続していけるよう小学校と連携を深めていく。(各幼)  ① 継続実施に向け連絡調整を図る。(各幼)  ② 小学校との打ち合わせや小学校指導要領の指導内容をより理解していくよう務める。(各幼)  ③ 不安や悩みを持つ保護者に寄り添う支援を継続していく。(各幼)  ③ 継続し保育の質と支援体制の充実を図っていく。(各幼)  ④ 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら事業を実施していく。(各幼)

基本施策1：幼児教育の充実 （3）家庭の教育力向上支援 ～家庭でつくる親子の時間～		
事業目的と概要		
◎家庭の教育力の向上支援を図る ①親子ふれあいの推進 ②親子のかかわりについての啓発 ③幼稚園・保育所における親子行事・家庭教育と連携した事業の実施		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① 教育機関からの刊行物（子育て・食育等）を配布し親子で参加できる催し等を知らせた。（各幼）  ① 園だより・クラスだよりを配布し、幼児の基本的な生活習慣形成に役立てるようにした。園活動をボードに記入したり、ホームページで保護者に向けて発信した。（各幼）  ② 新型コロナウイルス感染症拡大防止により実施できなかった。（各幼）  ③ 親子遠足（年長）として瑞巖寺や五大堂を訪れた他、遊覧船での島めぐりを行った。（各幼）	① 親子でのものづくりや話題づくりの場を提供することができた。（各幼）  ① 園だよりやボード、ホームページを通して、園での様子を知らせ、子育てを支援する一助となった。（各幼）  ③ 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら親子行事を実施できたことにより、松島町の歴史を体感しながら親子の絆を深めることができた。（各幼）	① 親子のかかわり方について、刊行物を利用して支援を行っていく。（各幼）  ① 園での様子を知らせることにより、家庭での親子ふれあいの機会を作っていく。（各幼）  ② 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら啓発活動を実施していく。（各幼）  ③ 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら継続して実施していく。（各幼）

基本施策1：幼児教育の充実 (4) 地域で支える子育ての支援														
事業目的と概要														
◎子育て支援・家庭教育の充実 ①保護者・祖父母・地域・ボランティア・NPO等と協働による交流型学習や子育て支援教育の連携の推進 ②家庭教育講話や親子体験行事の実施 ③一時保育による子育て支援の実施 ④家庭教育の支援・園庭開放・体験入園の実施 ⑤ごみゼロ運動や花いっぱい運動等の活動の推進 ⑥教育活動の地域・家庭への積極的な発信（ホームページ、園だより等）														
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策												
① 地域の「すずめ踊り松島竹谷舞」に協力を依頼し、保護者ボランティアによるすずめ踊り体験会を実施した。(五幼) ① 地域ボランティアの方々の協力で、年長児を対象に『茶道体験会』を実施した。(各幼) ② 保育参観において親子体験として七夕飾り製作やすずめ踊り体験等を行った。(各幼) ③ 保護者の実情に合わせた預かり保育を実施した。(各幼) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>預かり保育事業</th> <th>利用実人数</th> <th>利用延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松島第一幼稚園</td> <td>17人</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>松島第二幼稚園</td> <td>5人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>松島第五幼稚園</td> <td>5人</td> <td>28人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">利用事由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事（授業参観、PTA役員会、懇談会）</li> <li>・健診、通院、介護等</li> <li>・交通事情等</li> <li>・冠婚葬祭</li> </ul> ④ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため園庭開放を中止した。(各幼) ⑤ 園内での職員による花いっぱい運動を実施した。(各幼) ⑥ 園だより等による発信の他、毎日の教育活動の様子を、月に数回ホームページに掲載した。(各幼)	預かり保育事業	利用実人数	利用延人数	松島第一幼稚園	17人	58人	松島第二幼稚園	5人	16人	松島第五幼稚園	5人	28人	① 幼児の地域に対する愛着形成の基盤となった。(五幼) ① 幼児の生活の日常とかけ離れた、貴重な体験となった。(各幼) ② 親子のふれあいを図る一助となった。 ③ 預かり保育について、保護者のニーズに応えることができた。(各幼) ⑤ 園内の環境美化に努めた。(各幼) ⑥ 保護者がホームページを閲覧することで園との円滑な情報共有が行われ、園での子どもの様子を伝えることができた。(各幼)	① 活動団体の協力を得ながら、継続していく。(五幼) ① 活動団体の協力を得ながら、継続していく。(各幼) ② 新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じた上でより良い内容を検討し実施して行く。(各幼) ③ 臨機応変に対応し保護者のニーズに応じているが、体制的に実施できない日がある。(各幼) ④ 新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極め、判断していく(各幼) ⑤ 継続して園内美化に努める。(各幼) ⑥ ホームページに掲載する写真の撮り方や掲載の仕方を工夫し、継続して取り組んでいく。(各幼)
預かり保育事業	利用実人数	利用延人数												
松島第一幼稚園	17人	58人												
松島第二幼稚園	5人	16人												
松島第五幼稚園	5人	28人												



基本施策1：幼児教育の充実 (5) まつしま防災学（幼児期）の推進		
事業目的と概要		
◎防災・安全に対する実施体制の整備や安全管理の徹底 ①まつしま防災学（幼児期）による命を守る教育の推進 ②幼小中や地域との協働による防災訓練・交通安全教育等の実施		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① 交通安全・火災・不審者対応・地震・津波・Jアラートなど様々な状況に応じた避難訓練を実施した。（各幼）  ① 防災・安全に関する紙芝居、絵本やDVDを活用し、年間を通して指導した。（各幼）  ① 職員で危険箇所を巡回・点検し、安全を確保した。（各幼）  ② 小学校の交通安全教室や避難訓練に参加した。（各幼）	① スムーズに行動する姿が見られ、緊急時対応の意識を高めることができた。（各幼）  ① 避難時の原則【おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない】や、不審者対応【ついていかない・車にのらない・おおごえをだす・すぐにげる・知らせる】、地震時の【ダンゴむしのポーズ】が定着してきた。（各幼）  ① 危険箇所を巡回・点検することで、職員の防災意識が向上した。（各幼）  ② 園での活動と違い人数も多く知らない児童がいる環境でも、落ち着いて緊急時の避難方法や心構えについて知ることができた。（各幼）	① 災害の種類について、様々な状況や時間帯を想定した訓練を行う。（各幼）  ① 幼児期の防災教育の一環として、今後も紙芝居や絵本、映像を通して災害の怖さを伝え、避難の方法や必要性を繰り返し指導し、保護者の協力を得ながら具体的に動けるよう継続して実施する。（各幼）  ① 園児の安全確保及び職員の意識向上に努める。（各幼）  ② 小学校と連携した防災訓練を実施するため、幼稚園としての課題を明確にし、指導方法等について小学校と協議していく。（各幼）

2 基本施策2：学校教育の充実『未来の松島を担う、夢と志を持ち、誇りと自信に満ちた児童生徒の育成』

【担当課：教育課学校教育班（小・中学校）】

基本施策2：学校教育の充実 (1) 一人一人の児童生徒への確かな学力の保障		
事業目的と概要 ◎習熟度別グループによる少人数指導やTT指導、専科指導の充実を図り、児童の学習意欲を高め、基礎・基本の確実な定着を図る ①個に応じたきめ細かな指導による確かな学力の保障 ・学習指導体制（少人数指導、習熟度に応じた指導、ティーム・ティーチング(TT)、教科担任制、通級指導）の充実 ・全国学力・学習状況調査と町統一学力テストを活かした指導の充実 ・特別支援教育の充実（幼小中の特別支援教育の連携推進） ②家庭学習の習慣化 ・家庭との協働による家庭学習習慣の浸透 ・家庭における読書活動の推進 ③教職員研修の充実 ・学力向上推進体制の整備（地域の教育力の組織化と適切な指導体制等の調整） ・秋田県にかほ市との教育研修交流 ・校内研究の指導・支援の体制整備		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① 加配教員等を活用し、少人数指導及びTT指導、教科担任制、補助支援員によるサポートを実施し、きめ細やかな指導を行った。（各小・中）  ① 各学年の特別な支援を要する児童生徒に、通級指導担当や特別支援補助員が支援を行った。（各小・中）  ① 全学年を対象とする全国学力・学習状況調査や町統一学力テストについて、結果を分析し課題の洗い出しと改善への取組を行った。（各小・中）  ① 特別支援教育連携協議会では、個別支援を要する幼児・児童・生徒の共通理解を図り、各学校間の情報交換を行った。（各小・中）	① 少人数指導やTT指導は、理解度を把握しやすく、個に応じた指導ができた。また、教科担任制は、複数の教師との関わりや教師の専門性を生かすことができ、児童生徒の学習意欲が高まった他、担任の負担軽減につながった。（各小・中）  ① 一人一人に合わせた適切な指導・支援により児童等が自信を持って学習に取り組むなどの効果が見られた。（各小・中）  ① 課題を客観的に把握することで、学び直しや教師の指導法の改善について話し合う機会を持って、今後の指導の在り方を考えることができた。（各小・中）  ① 特別支援教育連携協議会で情報交換を行うことにより、児童生徒の支援について、共通理解を図ることができた。（各小・中）	① 児童生徒の学力向上のため各学年・学級の実態に応じた指導法や支援体制を工夫していく。（各小・中）  ① 担任が通級指導担当や補助支援員と連携を深め、特別支援教育の充実を図る。また、特別な支援を必要とする児童生徒が増加しているため、特別支援補助員の増員を検討する。（各小・中）  ① 児童生徒の実態に即した指導や支援の手立てを講じていく必要がある。また、家庭学習目標時間を意識させた取組を推進していく。（各小・中）  ① 進学時における情報共有を図り、継続的に該当児童生徒の支援を行っていく。（各小・中）

<p>② 松島町版「家庭学習の手引き」の他、家庭学習カードや家庭学習計画表を活用し、家庭学習が習慣化するよう指導に当たった。(各小・中)</p>	<p>② 「家庭学習の手引き」等を活用し、学校と家庭が同一步調で指導に当たることで、家庭学習の習慣化や学習意欲の向上につながった。(各小・中)</p>	<p>② 家庭学習に関しては個人差が生じやすいため、子どもたちや保護者が家庭学習の重要性を把握し、実践していくことができるよう組織的に推進していく。(各小・中)</p>
<p>② 読書カードを活用し、図書室の活用を進めたり、読書活動の推進を図った。(各小・中)</p>	<p>② 読書に対する意識が高まり、図書の貸し出し数の増加につながった。(各小・中)</p>	<p>② 図書室の活用を進める他、読書への興味・関心について分析し、更なる図書・読書活動の推進を図る。(各小・中)</p>
<p>② 朝の活動において特に読書の励行を促し、読書への関心・意欲を高めた。(各小)</p>	<p>② 読書習慣が身についたことで本に親しむ児童が増えた。また、様々な分野の本を読むことにより、読書の幅が広がった。(各小)</p>	<p>② 教科書の内容と関連する本を揃え、授業の中でも積極的に活用する場面を設ける。(各小)</p>
<p>③ 研究主任を中心に授業研究や検討会を重ねたり、外部講師を招いて研修会を行うことで、個々の指導力の向上を図った。(各小・中)</p>	<p>③ 授業研究や検討会を計画的に行い、成果や課題を共有しながら進めたことで、協働で授業づくりを行う体制ができた。(各小・中)</p>	<p>③ 授業研究の成果と課題を日々の授業づくりに反映させ、個々の指導力の向上を目指すと共に、現職研修を充実させる。(各小・中) 令和4年度から始まった「子ども国際観光科」についての共通理解を図ってきたが、専科及び学級担任の関わり方について検討していく。(各小)</p>
<p>③ 定期的な校内ICT活用研修会や町内小中学校のICT推進委員会を実施した。(各小・中)</p>	<p>③ 日々の実践や情報共有することにより、教員の指導力が向上した。(各小・中)</p>	<p>③ 町内各校及び町委等との連携により校内研究の充実を図る。(各小・中)</p>
<p>③ にかほ市とオンラインで教育交流を図り、生徒会執行部のメンバーが松島町の特色や学校の様子について紹介した。(松中)</p>	<p>③ オンラインでの交流ではあったが、顔が見える関係づくりにより交流の時間が充実したものとなった。(松中)</p>	<p>③ 今後の対面での交流を見据えて、より松島町の魅力や特色ある学校の取組について紹介していけるよう努めていく。(松中)</p>
<p>③ 事前指導案検討会等に教育指導専門員が参加した。(教委)</p>	<p>③ 外部からの視点で指導・支援を行い、校内研究の充実を図った。(教委)</p>	<p>③ 定期的に学校に訪問しながら、指導・支援を継続的に行っていく。(教委)</p>

基本施策2：学校教育の充実  
 (2) 夢と感動のある学校づくり

事業目的と概要

- ① 児童生徒が主体となり、協力と達成の喜びを体験できる教育活動の創造と支援
- ② 郷土松島を素材とする歴史文化教育と豊かな自然に学ぶ教育の工夫と実践
- ③ 異校種間の特徴を生かし、教職員相互の資質向上を目指す小中交流授業の推進
- ④ 未来を志向した学校諸施設の充実とICT等の教育設備の充実
  - ・プログラミング教育による理論的思考力や、創造性、問題解決能力等の育成
  - ・教員のICT活用指導力の向上
  - ・情報モラル教育をはじめとする情報教育の充実
- ⑤ 世界とつながる機会と体験を提供する国際理解教育の推進
  - ・松島町グローバル人材育成を目標とした外国語指導助手（ALT）学校派遣や松島こども英語ガイド事業等による国際感覚の醸成
- ⑥ 言語力と発表力等コミュニケーション能力や創造力が育つ学校全体の環境づくり
- ⑦ 県内外の諸学校との交流活動の推進
- ⑧ 教育活動の地域・家庭への積極的な発信（ホームページ、学校だより、学級だより等）
- ⑨ 地域とともにある学校（コミュニティー・スクール）の充実
- ⑩ 地域学校協働本部と学校が連携・協働した活動の充実

事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① 運動会や学習発表会などの学校行事において、児童が主体的に会を運営する場面を設定して実施した。（各小）	① 子どもが主体となって活動したことで達成感・満足感を与えることができた。（各小）	① できることは子どもたちに行わせ、主体的な態度が育成できるようにする。（各小）
① たてわり活動や児童会活動を積極的に実施することで、児童が主体となり互いに支え合い、達成感を味わうことができる教育活動を行った。（各小）	① 児童同士が助け合いながら、異学年の友達との交流が楽しいと感じ、学年を超えて活動する姿が見られた。（各小）	① 児童が主体的に活動するために、その都度励まし、努力を認めながら、継続して取り組んでいく。（各小）
① 児童会や生徒会執行部が中心となり、「いじめ防止動画コンクール」を作成した。（各小・中） 道徳の教材化を図り「いじめ防止」について考える機会を創出した。（松中）	① 2年連続優秀賞を受賞し、「いじめ防止」についての意識が高まった。また、道徳の授業を通して、いじめ防止について考える機会となった（松中）	① 生徒主体の取組を通じた達成感や成就感を得ることで、地域活動への積極的な参加に繋がっていくよう働きかけを行う。（松中）
② 総合的な学習の時間に品井沼干拓の見学や瑞巖寺の座禅体験等、松島の歴史と文化財に関する学習を行った。（各小）	② 地元に住んでいても体験することが初めての児童も多く、松島町の人、歴史及び文化に触れることで、改めて松島の良さを確認し、学びを深めた。（各小）	② 今後も持続可能なより良い取り組みとするために、各関係機関と連絡・調整を図り、学習の充実につなげていく。（各小）
② 「松島まるごと学」との連携を図り、教育活動全般を通して郷土松島の自然や歴史に触れた。（松中）	② 松島町在住の職業人による「職業人に聞く」を開催し、職業観や人生観について学びを深めることができた。（各中）	② 指導者を確保するためにも、計画的に各関係機関と連絡・調整を図っていく。（松中）

③ 中学校と連携し、中学生が小学校で出前授業を行う機会を設けた。(各小)	③ 中学生による出前授業を行うことによって、互いに交流を深めることができた。(各小)	③ 中学校と事前打合せや事後の振り返りを確実にを行い、より効果的な活動内容にしている。(各小)
③ 6年生が松島中学校において、中学校の授業を受ける体験活動を行った。(各小)	③ 中学校での授業参観は、小6児童にとって中学生になる自覚を促し、近い将来である中学校生活への不安解消や期待を育む場となった。(各小)	③ 中1ギャップを少なくするためにも、一度だけではなく複数回実施することが必要である。(各小)
③ 小中の教員が参加する町公開授業や小中合同教育研究会を実施した。(各小・中)	③ 松島町の「普段の授業」の重要性及び有効性について理解を深めることができた。(各小・中)	③ 今後も研究会を活用し、授業改善や指導力向上を図ると共に、町内で同等の指導が行えるような取組みを行っていく。(各小・中)
③ 「まつしま防災学」では、外部講師の指導の下、防災・減災についての学びを深めた。(各小・中)	③ 地域のリーダーを目指して、中学校1年生が出身小学校を訪問し、小学3・4年生へ防災クイズや減災指導を行った。(各小・中)	③ 今後、小学校・中学校・高校・大学の連携を図り、より良い学びの機会を図っていく。(各小・中)
④ タブレット端末を使い、自分の意見をやりとりするアプリケーションで思考力向上を図ったり調べ学習を行った。また、電子黒板を使った授業に取り組んだ。(各小)	④ 児童一人一人の意見や考えを取り上げることができ、普段発表に苦手意識のある児童も意欲的に学習に取り組む姿勢が見られた。また、デジタル教材や問題集を活用し、効率良く授業を進めることができた。(各小)	④ タブレットや電子黒板の有効な活用方法について研修を重ねていく。(各小)
④ ICT教育活動の実践として生徒会や各種委員会でもICTを活用した取り組みを行ったり、塩釜警察署生活安全課による「SNSに関する研修会」で講話をいただいた。(松中)	④ ICTを活用した取り組みを深めることができた他、講話では機器の安全な使い方や危険性について学びを深めることができた。(松中)	④ これからもICT教育活動の実践を継続していく。(松中)
④ ICT支援員による児童生徒の教育(授業)支援や端末操作支援、教員への研修会を実施した。(各小・中)	④ 教育活動への機器活用頻度が大きく向上した他、ICT支援員による教員への研修により、児童生徒への学習指導に生かすことができた。(各小・中)	④ 充実した取り組みができるよう、今後もICT支援員と連携を図っていく。また、今後も研修を充実させ、教員のスキルアップを図っていく。(各小・中)
④ 子ども国際観光科においては、専科やALTの活用を図り、異文化理解や国際感覚を醸成するよう努めた。(各小)	④ 世界の国々の様子を知ることで、日本と他国のつながりや世界情勢に関心を持つことができた。(各小)	④ 教科書だけでなく新聞記事等も活用しながら世界の様子について紹介したり、児童が興味を持ったことについて自主的に調べて発表する活動を取り入れていく。(各小)
⑤ 自国や郷土の文化と歴史・伝統について学びを理解し、英語を活用したコミュニケーション能力の育成を図った。(松中)	⑤ ALTとの会話を通して日本と諸外国との違いについて学ぶことができた。(松中)	⑤ 教科指導に限らず、教育活動全般に国際理解教育について実践を図っていく。(松中)

<p>⑥ 各種行事や授業の中で発表機会を多く持つようにし、自分の考えを相手に分かりやすく伝える力の育成を図った。(各小・中)</p>	<p>⑥ 発表する機会を重ねるたびに自分の考えに自信を持って発表する児童の姿が多く見られるようになってきた。また、ペア学習や少人数、タブレット端末による意見共有と通じて、話し合い活動への意欲が高まった。(各小) 子ども国際観光科では児童が外国語を使ったコミュニケーションを主体的に行う姿が見られた。(各小) 授業の中で言語力や発表する力を伸ばさせる授業づくりについて考えさせたことにより、相手を尊重し、傾聴する姿勢を身に付けることができた。(松中)</p>	<p>⑥ 自分の考えを発表し、意見を交流する場を今後も授業の中に設定していく。また、外国語活動等で培ったコミュニケーション能力を他教科にも生かすようにする。(各小) 学校全体として、授業、学級活動、各種行事を通してコミュニケーション能力の向上を図っていく。(松中)</p>
<p>⑦ にかほ市との交流、利府支援学校特別支援学級居住地交流、宮城県いじめフォーラム、文部科学省いじめ問題サミットへ参加し交流を深めた。(松中)</p>	<p>⑦ 様々な取組について理解を深めるとともに、松島中学校の取組について紹介することができた。また、全国いじめサミットでは、全国各地の取組を知ることができた。(松中)</p>	<p>⑦ 更なる交流活動の充実を図るため、話し合い活動(ペア・グループ)を中心に、コミュニケーション能力の向上に努めていく。また、松島中学校として取り組める内容を生徒会主体となって企画・運営できるよう進めていく。</p>
<p>⑧ 学校だより、学級だより、学校ホームページ、nopaメール等で学校運営方針や日々の教育活動について積極的に発信した。(各小・中)</p>	<p>⑧ 学校生活の情報を発信し、家庭や地域等の方々の理解増進が図られ、保護者や児童生徒からはホームページの更新を楽しみにしているという声もあった。(各小・中)</p>	<p>⑧ 発信する内容についてさらに工夫を重ねながら、教職員で役割分担し、学校の教育活動について、定期的に情報を発信していく。(各小・中)</p>
<p>⑨ 学校運営協議会を開催し、社会に開かれた学校を目指して地域と連携を図り、運営方針や教育活動全般について協議した。(各小・中)</p>	<p>⑨ 様々な角度から意見をいただき、より良い学校運営につなげることができた。(各小) 学校の様子や課題点について共有できた他、LGBTQや働き方改革、いじめ防止対策や部活動の地域移行について熟議を交わすことができた。(松中)</p>	<p>⑨ 貴重な意見を参考にしながら学校・保護者・地域が連携し、学校運営を行っていく。(各小) 今後は生徒会執行部の生徒にも参加してもらい、生徒目線の率直な意見を聞くなど、より良い学校運営につなげていく。(松中)</p>
<p>⑩ 交通安全教室やサツマイモの苗植え、花壇の整備、朝の読み聞かせ等、全学年を対象に年間を通して地域と連携した教育活動を行った。(二小)</p>	<p>⑩ 教員以外の方から専門的で幅広い知識を得ることができ、地域について深く学ぶことができた。(二小)</p>	<p>⑩ 活動を継続していくため、人材の確保のシステムを整備していく。(二小)</p>
<p>⑩ 学校支援ボランティア(松五小おでって隊)の協力を得て、たてわり駅伝でのボランティア協力、郷土学習、花壇整備、登下校の見回り等を行った。(五小)</p>	<p>⑩ 学校支援ボランティアの協力により充実した授業や学校行事を行うことができた。(五小)</p>	<p>⑩ 今後も継続して地域の方との連携を強化していく。(五小)</p>

## 基本施策2：学校教育の充実

## (3) 心身ともに健全な児童生徒の育成

## 事業目的と概要

- ①全町での不登校ゼロの取組の推進
- ・いじめ防止対策基本方針の徹底及び連携体制・重大事案における体制整備
  - ・児童生徒への定期的なアンケート実施等による実態把握と共通理解による早期対応
  - ・心のケアハウス事業実施による不登校児童生徒の家庭とのコミュニケーション強化と相談体制の確保
  - ・認め励まし合いながら、思いやりと信頼関係を育む取組の推進
  - ・コロナ禍のなか、思いやりと信頼関係を育む取組の推進
  - ・一人一人を大切にする生徒指導の推進
- ②子どもたちの安心・安全を守る取組の推進
- ・いじめ・虐待・不登校・学校不適応・非行・自殺等予防・心のケアなど
- ③体力の向上や健康増進に向けた方策の推進（新型コロナウイルス感染症対策の取組）
- ・体力づくり運動、体力テストの活用、体育施設等の整備、むし歯予防の取組、正しい生活習慣・食習慣の育成
  - ・新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な学校運営
- ④学校・家庭・地域が一体となった品性豊かな調和のとれた子育て活動の推進
- ・あいさつ運動、道徳教育、伝統文化教育、読書活動の推進、親子のふれ合い活動の推進
- ⑤幼保小中高の連携の推進

事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
<p>① 定期的にアンケートを実施し、悩みを持つ児童生徒に対し聞き取り調査を行った。また、日頃の様子について細やかに観察し、全職員で、情報共有を図りながら指導に当たった。(各小・中)</p>	<p>① 実態を把握し、得られた情報をもとに課題解決に当たることができた他、いじめにつながる小さな出来事を早期に発見し、迅速に対処することができた(各小) 初期対応を大切にしたり丁寧な指導を心がけたことで、重大事案は発生しなかった。また、生徒の家庭環境に変化があった場合は、関係機関と連携を図り情報共有に努めた。(松中)</p>	<p>① 日頃から対話や観察や対話を大切にし、児童生徒の実態把握に努め、個に応じたきめ細かな指導を継続していく。また、引き続き、報告・連絡・相談の連絡体制の強化を図っていく。さらに、各校によるいじめ防止基本方針及び松島町いじめ重大事態対応マニュアルに基づき、各事案に対し適切に対応する。(各小・中)</p>
<p>① コロナ差別やいじめをなくすためシトラスリボン活動やいじめ防止の動画作成を実施した。(各小・中)</p>	<p>① 児童生徒が偏見や差別について考え、他を思いやる言動が増えた。(各小・中) 生徒が主体的に取り組む風土が醸成された。(松中)</p>	<p>① 今後も思いやりの心や、自らいじめを防止しようという意識を育てていく活動を継続していく。(各小・中)</p>
<p>① 松島子どもの心のケアハウス事業（もみの木教室）を継続した。 (教委)</p>	<p>① 心のケアハウス事業では、いじめや不登校により、学校生活に困難を抱えるようになった子どもたちの学校復帰や自立支援に取り組んだ。(教委) 気になる児童の情報共有することができ、効果的な指導法を探ることができた。(各小)</p>	<p>① 「子どもの心のケアハウス」での複合的なサポートにつなげていくために、各校との連携や情報交換を図っていく。(教委)</p>

<p>② スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを活用した心のケア・不登校対策事業を実施した。(教委)</p>	<p>② 心のケア・不登校対策事業では、学校と家庭、各機関との円滑な連携を図り、不登校児童生徒の学校生活復帰に努めた。(教委) スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーとの連携により、児童や保護者の立場や心情を理解するとともに、寄り添った対応を行うことができた。(各小)</p>	<p>② 学校や家庭等と連携して、不登校児童生徒が置かれた環境の改善を図っていく。(教委) 関係機関との連携を図りながら、必要に応じてケース会議や定期的に教育相談を行い、未然防止や登校支援に積極的に取り組む。(各小)</p>
<p>② 相談機関や要保護児童対策協議会と連携し情報を共有した。教員研修では、スクールロイヤーを講師に招き、「いじめの事例紹介と法的措置」について理解を深めた。(松中)</p>	<p>② 生徒に関する情報を職員間で共有したことで、生徒に寄り添った対応につなげることができた。(松中)</p>	<p>② 引き続き関係機関との連携を図り、必要に応じてケース会議を実施していく。(松中)</p>
<p>② PTAの協力のもと、長期休業中の地区巡視や危険箇所点検を行った。(各小・中)</p>	<p>② 巡視により、地域や学校で安心・安全に活動ができた。(各小・中)</p>	<p>② 今後も継続するため、保護者の理解と協力を求めていく。(各小・中)</p>
<p>② 通学路の危険箇所について、道路管理者や警察と合同点検を行った。(教委)</p>	<p>② 合同点検により、関係機関と連携して対策をとることができた。(教委)</p>	<p>② 通学路の安全関係機関との合同点検を継続的に行っていく。(教委)</p>
<p>② PTA役員や松島交番の方を交えて、いじめ問題対策委員会を開催し、情報交換を行った。(松一小)</p>	<p>② スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、各関連機関との連携を通して、児童虐待などの疑いのある保護者・児童の教育相談を進め、多角的な面から指導・支援することができた。(松一小)</p>	<p>② 関係機関とさらに連携を図り、問題解決に努めていく。(松一小)</p>
<p>③ 新体力・運動能力調査で、新型コロナウイルス感染予防対策を講じて調査可能な種目を実施した。(各小・中)</p>	<p>③ 新体力・運動能力調査を通して、児童等の実態や課題を把握・分析したことで、授業でポイントを絞った補強運動及び個に応じた指導を実践することができた。(各小・中)</p>	<p>③ 体力向上を目指すと共に、自己の体力を知ることによって、体育の授業への意欲喚起につなげていく。(各小・中)</p>
<p>③ 学級や縦割りでの縄跳び運動や業間マラソンなど、日常的に体を動かす機会を設けた。(各小)</p>	<p>③ 休み時間に、積極的に外に出て、縄跳びやマラソンなど自主的に体を動かす姿が見られた。(各小)</p>	<p>③ 縄跳び運動や業間マラソンを継続しながら、全国や県のデータと比較分析をして、体力づくりを行っていく。(各小)</p>
<p>③ 手洗い、手指消毒、マスク着用など新型コロナウイルス感染予防対策を中心に、保健だよりや掲示資料により啓発を行った。(各小・中)</p>	<p>③ 健康や予防に対する意識が高まった。(各小・中)</p>	<p>③ 定期的に保健だよりを発行し、健康増進を啓発していく。(各小・中)</p>
<p>③ 外部講師を招いた「ボールの投げ方教室」を実施した。(五小)</p>	<p>③ 「投」運動のフォームを身に付けようと積極的に取り組んだ。休み時間にはボールを投げる遊びを楽しむ姿が増えた。(五小)</p>	<p>③ 新体力テストで特にボール投げの数値が他の項目と比べて低いことから、ボール投げを体作りの運動や遊びに取り入れていく。(五小)</p>



③ 自分のお弁当を自らつくる「Happy Lunch Time (HLT)」を実施した。(五小)	③ 親子でお弁当を作る機会となり、食への関心や健康的な体づくりへの意欲を高めることができた。(五小)	③ 保護者の負担に配慮しながら、今後も家庭の協力を得て食育活動を継続していく。(五小)
④ 児童会や生徒会を中心に、あいさつ運動を行った。(各小・中)	④ 進んで明るいあいさつができるようになった。(各小・中) 委員会活動の中で高学年が良いあいさつの手本を示す場面が見られた。(二小) 場や相手に応じた言葉遣いや目を見て明るいあいさつができる児童が多く、保護者や地域から高く評価された。(五小)	④ 誰にでもあいさつができるよう、今後も児童主体の挨拶運動を継続していく。(各小) あいさつの意義を理解させ、心のこもったあいさつが自然とできるよう指導していく。(松中)
④ 学年PTA、PTC行事として親子ふれ合い活動を実施した。(各小)	④ 学年委員が中心になるなどして親子のふれ合いの機会を設け、関わりを深めた(各小)	④ 今後も親子のふれ合いの機会を設け、継続して実施していく。(各小)
④ 地域人材を活用し、地域に伝わる伝統文化の継承活動に取り組んだ。(五小)	④ 大漁唄い込み、菱取踊り、豊年踊り等に取り組み、保護者を始め地域で披露することができた。(五小)	④ 継続して伝統文化の継承活動を実施する。(五小)
④ 学年部ごとに目標冊数を決めて読書に取り組むとともに図書館教育の充実を図った。(五小)	④ 図書委員会の魅力ある取組や図書司書の積極的なはたらきかけにより、ほとんどの児童が目標冊数に達した。また、これまでの取組が認められて「子供の読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰」を受賞した。(五小)	④ 今後も読書活動への関心・意欲が向上するよう取り組みを継続していく。(五小)
⑤ 幼保小中のそれぞれの連絡会により、連携を図り進学時の引継ぎを行った。(各小・中)	⑤ 学習・生活指導に必要な情報を得ることで、校内の体制や指導方針を検討することができた。(各小・中)	⑤ 連携を充実させ、情報交換をしっかりと行うことで、今後も確実な引継ぎを行っていく。(各小・中)

【担当課：教育課学校教育班（学校給食センター）】

基本施策2：学校教育の充実 <b>（3）心身ともに健全な児童生徒の育成</b> ・ふるさと食材の活用による家庭と連携した食育の推進と安全な給食の提供		
事業目的と概要 ◎学校給食は栄養バランスの取れた食事の提供により、成長期にある児童生徒の健康保持増進と体位の向上に寄与し、望ましい食習慣の確立をねらいとする。 ①栄養管理の充実 ②食育の推進等 ③環境衛生対策 ④安全対策 ⑤関係機関（学校給食センター運営審議会・学校給食担当者会議） ⑥アレルギー等対応 ⑦民間委託		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① 園児や児童生徒の健全な心身の発達と食生活の改善を図るため、毎月の予定献立表と町ホームページにおいて、給食の栄養素の紹介や食に関する情報を発信した。 ① 栄養バランスの取れた献立を提供することはもとより、季節毎に旬な地場産品を使用し、また、年中行事の際には、地域の特色ある献立を提供した。 ② 栄養士による食育指導は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、毎月の予定献立表を活用することにより各家庭での意識向上を行った。 ③ 「学校給食衛生管理基準」にのっとり、腸内細菌検査を月2回実施し、手洗いと感染予防を徹底して行った。 ④ 専門業者により保守点検を実施し、経年劣化による機器の破損等については、適宜修繕を行い、事故防止に努めた。また、調理委託業者に調理器具類の使い方についての研修を依頼し、実施した。 ⑤ 学校給食センター運営審議会を1回実施した。 ⑤ 学校給食担当者会議を実施した。 ⑥ 各幼稚園・小中学校と連携し、食物アレルギー等における対応手続きを行い、希望者に詳細献立表を配布した。 ⑦ 調理業務等を外部（民間）に委託した。	① 毎月の献立や食に関する情報を児童・生徒及び保護者等に予定献立表で周知することにより、家庭での食習慣の改善に寄与した。 ① 地場の野菜などに関心を持ち、また、年中行事毎に彩りある献立を提供することで、食への好奇心を高めることができた。 ② 新型コロナウイルス感染防止の観点から直接指導はできなかったが、予定献立表の活用により、各家庭での食育に対する知識の向上に繋がった。 ③ 食中毒の発生や感染症を発生せずに済んだ。 ④ 調理従事者の事故防止・安全対策が図られた。 ⑤ 学校給食の運営方針や実施状況などについて協議することができた。 ⑤ 各幼・小・中学校の担当者との連絡調整や意見交換を行うことができた。 ⑥ 成分が詳細に記載された献立表を保護者と各幼稚園・小中学校とで情報共有することにより、食物アレルギー等による事故防止につながった。 ⑦ 調理委託業者と連携を深め、安全で効率的な運営をすることができた。	① 給食の目的や意義を児童・生徒及び保護者にこれまで以上に関心を持ってもらうよう、工夫を行っていく。 ① 地場産品を使用した献立の充実や調理方法を研究し、趣向をこらした献立の提供に努める。 ② 栄養士による食育の直接指導が各幼稚園・小中学校で実施できるよう、学校等との協議に努める。 ③ 日常の衛生管理に最善を尽くし、安全な給食を今後も提供できるよう努める。 ④ 機器類の保守点検及び研修を行い、事故防止に努める。 ⑤ 適切な学校給食の在り方や運営についての貴重な意見聴取の場として活用し、今後の改善に努めていく。 ⑤ 給食担当者と連携し、円滑な給食の提供ができるよう努める。 ⑥ 対象者の把握に努め、今後も幼稚園・小中学校と保護者との間で情報を共有し、連携して事故防止に努める。 ⑦ 今後も調理委託業者と連携し、安全で効率的な運営に努める。

基本施策2：学校教育の充実 （4）松島の歴史と文化を学ぶ活動の充実		
事業目的と概要 ◎心身ともに健全で、豊かな知力と感性及び強い意志を持ち、いきいきと諸活動に励む児童の育成に努め、地域の伝統的行事や文化的活動に主体的、継続的に関われるようにし、郷土を愛する心情と態度の育成に努める。 ①総合的な学習の時間の充実 ・義務教育9年間を見通した郷土松島を素材とする「松島まるごと学」（歴史文化教育カリキュラム）の実践、地域及び学校間連携の推進 ②キャリア教育、志教育の推進 ・松島町内での職場体験学習の推進 ③国際交流、地域間交流の推進 ・秋田県にかほ市との生徒間交流とICTを活用した国際交流		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① 体験によるふるさと学習や、地域の方々を講師とした地域伝統文化等の総合学習、町学芸員による出前授業などを行った。また、瑞巖寺見学、座禅体験、遊覧船乗船等を行った。（各小・中）  ① 地域の方をゲストティーチャーに迎え、松島の創作太鼓の演奏に取り組んだ。（一小） ② 宮城県が作成した志シートを活用し、各教科等において志教育の指導を実践した。（各小）  ② 様々な校外学習で社会のために働く大人の姿を見ることでキャリア教育や志教育を推進した。（各小）  ② 「職業人の話を聞く会」を実施して、様々な職種の方から仕事に就いた経緯や苦労、大切にしていること、中学生に望むことなどを直接聞く機会を持った。（松中） ③ 台湾双冬小学校とのオンライン交流を通して英語を交えながら互いに学校紹介を行った。（五小）  ③ 生徒会の役員生徒が、にかほ市を訪問するリーダー研修会はオンラインでの開催となり、生徒会執行部が参加した。（松中）	① 各学年で地域の歴史や文化財、伝統的行事について、身近に感じ学ぶことができた。また、学区内に貴重な文化財があることや、日頃はできない体験をすることで児童生徒の学習意欲が高まった。（各小・中）子ども国際観光科を関連させ、ふるさとについて積極的に発信しようとする意欲が高まった。（各小）  ① 太鼓の練習を通して地域の方と触れ合うことができ、地域への関心を高める機会となった。（一小） ② 児童が自己の成長を振り返る資料とする他、保護者との情報共有の資料、小中連携の資料として活用することができた。（各小） ② 様々な人が働くことで社会が成り立っていることを理解できた。（各小）  ② 「職業人の話を聞く会」を通して、松島の産業について理解を深めるとともに、将来について考える機会となった。職場体験学習は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止とした。（松中） ③ オンライン交流会を通して、互いの学校生活を知り、新たな疑問に気付くとともに、伝え合うことの楽しさを味わうことができた。（五小）  ③ オンラインにより、松島町の魅力と学校紹介を行った。	① 松島町歴史文化教育カリキュラムに基づき、各学年の体験活動をより充実したものとし、ふるさと松島を愛する心を育てていく。また、講師を確保しながら、体験活動を更に充実・工夫していく。（各小・中）  ① 地域との連携を深め、今後もふるさと教育を推進していく。（一小） ② 4～6年生において志シートの更なる活用を図るとともに、全学年において各教科等に渡り、志教育を推進する。（各小） ② 発達段階に応じた職業観を養うため、時数を確保しながら継続的に実施を図る。（各小）  ② 地域の人材活用については、教職員と地域コーディネーターの連携を今後も継続的に図っていく。（松中）  ③ 交流の仕方を工夫し、台湾双冬小学校との交流を充実させる。加えて、「子ども国際観光科」の取組による松島町の良さを英語で伝えようとする意欲の向上を図る。（五小） ③ 町教委と連携を図り、対面やオンラインによる実施体制を検討し、交流の機会を創出する。（松中）

基本施策2：学校教育の充実 (5) まつしま防災学の強化		
事業目的と概要 ◎児童が心身の発達段階に応じて、大規模災害への対応について必要な事柄を理解するとともに、常に安全な行動ができるようにする。 ◎学校環境や学校生活などにおいて、事故の原因となるような要因を早期に発見し、事故防止と児童の安全確保に努める。 ①「自助」「共助」「公助」を基軸に据えた「まつしま防災学」の推進 ②地域との協働した防災教育の実施 ③安全な教育環境の整備と防災体制の整備		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① 「まつしま防災学」を学活、生活科、総合的な学習の時間の中に位置づけ、発達段階に応じて地域防災に関する課題を設定し学習に取り組んだ。(各小・中)  ① 地震・津波・火災・水害などの災害の種類や、時間や場所に対応した避難訓練を実施し、発災時に自分の身を守るため、どのような行動を取るべきか指導した。(各小・中)  ① 松島中学校1年生の生徒が来校し、生徒主体による「小学生減災教室」を実施した。(各小)  ② 幼稚園・保育所との合同避難訓練や、保護者への引き渡し訓練を実施した。(各小)  ② 学校運営協議会で、学区内の浸水区域や氾濫区域を踏まえた避難場所等について協議した。(各小・中)  ③ 子ども安全対策事業として、スクールガードリーダーを配置し、登下校時に見守り活動を実施した。(教委)	① 新聞記事や副読本、学区内地図を活用しながら、学年に応じた指導を行い、自分たちの生活に直結したより実践的な学習を進め、各種防災訓練と併せて実施することで効果を高めることができた。(各小) 防災教育を通して、防災、減災に関する知識や実践力が次第に高まり、地域防災と連携した地震に強いまちづくりに関心を持たせることができた。(各小・中)  ① 児童生徒は状況に応じた避難を経験し、教職員と共に防災への意識を高めることができた。一人一人に防災行動が浸透し速やかに行動する姿が見られた。(各小・中)  ① 「減災クイズ」や「減災カルタ」等、児童に分かりやすい手法を用いることにより、中学年児童の防災や減災に対する意識が高まり、非常時において大切なことは何かについて考えることができた。(各小)  ② 実態に即した計画を作成し、避難訓練及びメールを活用した引き渡し訓練を継続して実施してきたことで、整然と行うことができた。(各小)  ② 学校運営協議会や青少年健全育成町民会議と協力し、関係機関や保護者、地域と情報共有して連携を図った。(各小・中)  ③ スクールガードリーダーの巡回により、安全指導や不審者対策が図れた。(教委)	① 学校、地域住民及び関係機関が、どのように役割分担し、継続的に連携していくかについて、今後も話し合いや検討を行っていく。また、引き続き「東日本大震災」を風化させない指導を行っていく。(各小・中)  ① 様々な場面や状況を想定した避難訓練を実施していく。(各小・中)  ① 今後においても、小中連携の取組を継続する。また、学校で学んだことを家庭で話題にできるよう、学校日より等で周知していく。(各小)  ② 引き渡し訓練の重要性について、保護者に啓発していく他、今後は地域住民との合同避難訓練も視野に入れて計画していきたい。(各小)  ② 定期的に地域と協働して防災教育を行っていく。(各小・中)  ③ 各学校に登録した地域住民が、学校内外の巡回や危険箇所の監視などを行うスクールガードの育成を検討する。(教委)

<p>③ 警察、国・県の道路管理者、役場関係課及び学校との通学路の合同点検を実施した。(教委)</p>	<p>③ 各関係機関からの改善策や対策方法を確認し、通学路の危険箇所の対策を図ることができた。(教委)</p>	<p>③ 今後も通学路の危険箇所対策を図ることができるよう、各機関と連携して点検を行っていく。(教委)</p>
<p>③ 施設や設備の安全点検を月に一度実施し、校内の安全確保に努めた。(各小・中)</p>	<p>③ 教育委員会に報告し、危険箇所解消に努めた。(各小・中)</p>	<p>③ 定期的に点検をし、安全確保に努める。また、日常的な危機管理により、事故の未然防止の取組を推進する。(各小・中)</p>
<p>③ PTA等からの情報提供により、学区内の危険箇所をまとめて保護者と情報共有した。(各小・中)</p>	<p>③ 危険箇所の巡視や学級における児童生徒への指導ができ、効果的であった。(各小・中)</p>	<p>③ 地域防災としての地域との連携を推進するために、地域関係者等との連携を強化するとともに周知を図る。(各小・中)</p>
<p>③ 保護者にnopaメールへの登録を依頼した。また、災害発生の際にはnopaメールを活用し、連絡内容を速やかに共有した。(各小・中)</p>	<p>③ 緊急連絡など様々な場面でnopaメールを有効に活用することができた。(各小・中)</p>	<p>③ 全家庭がnopaメールに登録するように働きかけていく。(各小・中)</p>
<p>③ 防災主任や安全主任が中心になり、防災計画の見直しを行った。(各小・中)</p>	<p>③ 実際に避難経路等を歩いて確認し、津波の浸水区域や河川の氾濫区域などを想定した避難場所を設定した。(各小・中) 令和4年度に宮城県が新たに発表した津波浸水想定図をもとにこれまでの防災マニュアルの見直しを図ったことで、より地域の実態に応じた避難マニュアルを作成することができた。(一小)</p>	<p>③ 常に適切で安全な防災計画を目指して、適宜見直しを行い、教職員間の共通理解を図っていく。(各小・中)</p>

3 基本施策3：地域文化の継承と創造『歴史と文化を継承し、文化遺産の保護と活用を図った教育の推進』

【担当課：教育課生涯学習班】

基本施策3：地域文化の継承と創造 (1) 歴史と文化と地域を学ぶ学習の推進		
事業目的と概要		
①地域との協働によるふるさと体験型教育の推進 ②ふるさと松島の探究と新たな魅力の発見・発掘への取組 ・「松島まるごと学」の実践と充実 ・歴史資料等の調査や地域の埋もれた史跡の再発見及び調査成果活用の促進 ③地域の魅力ある文化・伝統の伝承保存と内外への情報発信 ・日本遺産の周知と関連文化財群のさらなる活用 ④特別名勝松島の景観及び歴史文化遺産の保全		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① <b>親子縄文土器づくり体験教室</b> 2市2町（塩竈市・多賀城市・七ヶ浜町・利府町）と共同で小学生の親子を対象に土器づくり体験（成形8/20、焼成10/24）を実施した。	① 2市3町の小学生と保護者18組42名（うち松島町は5組10名）であった。	① 野焼きの会場提供を行う七ヶ浜町の負担が大きく、次年度以降は明確に構成市町の役割分担を行い持ち回りで実施していくことにした。
② <b>松島れきし再発見講座の実施</b> 講座を通して松島に関する最新の研究成果の発信や歴史文化基本構想の周知を図る計画としていたが、新型コロナウイルス感染症がまん延状況となり、講座開催を中止した。	② 新型コロナウイルス感染者数の推移を見て講座開催の検討を続けたが、年度内の実施は見合わせた。	② 新型コロナウイルス感染症対策を含めた実施方法の検討を行い、魅力ある講座実施に努めていく。
② <b>「松島まるごと学」の実施</b> 学校・関係機関との調整を図りながら、出前授業、見学学習で「松島まるごと学」を実施した。あわせて町広報・SNS・教育委員会ホームページで取組を紹介した。	② 町内の小学校で郷土の歴史や文化を学ぶ授業を通して、地元松島に対する興味と関心を深め郷土愛を育むことができた。コロナ禍であったが、日程調整等を行い予定していた内容を実施することができた。	② 児童生徒の理解度が一層深まるよう出前授業の内容を学校と調整しながら工夫し、町の魅力を伝えていく。
② <b>松島町史編纂資料所在確認調査</b> の実施 NPO法人「宮城歴史資料保全ネットワーク」と協力し、『松島町史』編纂資料所蔵者宅2件を訪問し現況確認調査を行った。	③ 『松島町史』使用資料の所在の有無及び新出資料も含めた全点の撮影作業（計131点・904コマ撮影）を行った。また、所蔵者へ歴史資料を後世に遺すことの重要性を周知することができた。	③ 次年度以降も町史編纂に向け継続して調査を進めていく。
③ <b>日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」魅力発信推進事業</b> 宮城県並びに構成市町（仙台市・多賀城市・塩竈市・松島町）で開催するPR事業「セタシマクエスト」を実施した。更にはSNS等を活用し、関連情報や魅	③ コロナ禍であったが、可能な限り事業実施に努め、小中学生を対象としたガイドツアーを開催することができた。ガイド養成講座も新型コロナウイルス感染症対策を十分に行った上で実施することができた。観瀾亭松島博物館におけるパネル展やSNS等を	③ ガイド養成講座の充実と小中学生対象のガイドツアーの実施、「伊達な文化」の魅力の発信を継続して行い浸透を図っていく。

<p>力の発信を行った。「日本遺産の日PRイベント」に参加し、首都圏での認知度向上を図った。</p>	<p>活用した日本遺産の魅力発信に努めた。 ※Facebookのフォロワー数318名。</p>	
<p>③ <b>各種展示</b> 観瀾亭松島博物館(6回)、役場庁舎町民フロア(3回)の展示替え及び「松島湾三町文化財展」(各町1回・計3回)を行った。</p>	<p>③ アインシュタイン来町100周年や「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産登録を受けたことなどに関連し、時宜にかなった企画を行うことができた。</p>	<p>③ 保有している資料の有効的な活用を図るため計画的な展示を企画し、定期的な展示替えを行っていく。</p>
<p>③ 町文化財の新指定 令和4年9月1日付けで大仰寺洞水禅師倚像1軀を新たに町の有形文化財として指定した。</p>	<p>③ 新指定された文化財について、町の広報等を通じて町の歴史文化の豊かさを周知することができた。</p>	<p>③ 今後も要望のあったものについて、文化財保護委員に諮問し、専門家の意見を聞いた上で、文化財の指定を行っていく。</p>
<p>④ <b>文化財・イベント等の広報</b> 広報まつしまへの連載記事の掲載。広報まつしま及び町公式SNS、松島町ホームページを活用した文化財関連情報の周知を行った。</p>	<p>④ 毎月の「広報まつしま」で文化財紹介記事を掲載し、町所蔵資料等について紹介することができた。その他、町内外での松島町関連資料の展示情報についても周知を図った。イベント内容については、「広報まつしま」に加えてSNSも活用し、広く周知に努めた。</p>	<p>④ 効果的な情報発信を行うため、状況に応じて広報誌とSNSなどの手法の使い分けを行い、町内外へ広く発信・周知していく。</p>
<p>④ <b>品井沼干拓資料館等の維持管理</b> 品井沼干拓資料館及び関連施設のずり出し穴・元禄潜穴の穴頭等の除草作業を行い、適正な維持管理に努めた。また、品井沼干拓資料館見学者等への説明対応を実施した。</p>	<p>④ 品井沼干拓関連施設に係る除草作業をはじめ適正な維持管理を行い、見学等しやすい環境を整えることができた。 ※品井沼干拓資料館は37件435名の利用があった。</p>	<p>④ より良い見学環境を整えるため、継続した施設等の適正な維持管理に努めていく。展示資料については、見学者等に分かりやすい解説パネルの追加等を行っていく。</p>
<p>④ <b>文化財の防火・防災対策</b> 毎年、瑞巖寺・松島消防署等と共同で火災発生を想定した文化財の消防訓練を実施しているが、直前の降雪により参加者の安全に不安が生じたため中止とした。</p>	<p>④ 災害は悪天候の際にも発生する恐れがあるため、様々な場合に備えておくことが重要だということを再認識した。</p>	<p>④ 次年度は防災設備改修事業が終了する見込みのため、新たな設備の使用方法を含め、関係各団体と連携を密にした訓練を実施していく。</p>
<p>④ <b>西の浜貝塚公園の維持管理</b> 業務委託により公園内の草刈りや樹木剪定等の維持管理を実施した。樹木剪定については、地域の要望を考慮し実施した。</p>	<p>④ 公園内の維持管理については、年間を通して適正な維持管理を行った。</p>	<p>④ 維持管理に当たり、周辺住民の要望を踏まえた管理を実施する他、経年劣化等により修繕等が必要な箇所について対応し、適切な施設の管理に努める。</p>
<p>④ <b>特別名勝松島現状変更申請及び埋蔵文化財届出等に関する相談・申請受付</b> 特別名勝松島については、スムーズに許可が下りるよう助言を行うとともに、景観を損ねないよう調整を図った。埋蔵文化財についても協議・届出の受付及び宮城県の指示に応じて工事立会等を実施した。</p>	<p>④ 特別名勝松島の現状変更申請手続き136件を行った。埋蔵文化財発掘手続き21件については、工事立会が14件あり、確認調査が6件、慎重工事が1件であった。</p>	<p>④ 各種諸手続きについて、事業者等からの相談に対して適切な指導を行い、特別名勝松島の景観保持及び埋蔵文化財の保全に努める。</p>

4 基本施策4：生涯学習の推進『協働による家庭教育、地域活動の推進』

【担当課：教育課生涯学習班・中央公民館】

基本施策4：生涯学習の推進 (1) 地域で支える家庭教育の推進		
事業目的と概要		
①公民館・分館事業における協働による地域活動の推進 ・各分館活動を中心とする地域活動の活性化 ・地域の伝承、史跡を知る研修活動 ②自主サークル活動の発足と運営への支援 ・社会教育関係団体登録制度の導入に向けた検討 ③地域に根ざした世代間交流や青少年育成活動への取組支援 ・ジュニア・リーダー育成と活動推進、にかほ市中学生とのリーダー交流 ④心の通い合う「家庭づくり」の啓発と子育て支援の推進 ⑤地域における子どもの社会性を育成する取組の実施 ・地域教育資源の発掘と情報の発信 ・学校家庭地域の連携協力事業（放課後子ども教室等）の充実 ⑥地域の協働による地域交流センター活用支援 ⑦地域学校協働活動組織の充実並びにコミュニティー・スクールとの連携		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① <b>分館事業の調整と共有</b> 分館長会議（計8回）の実施 盆踊り講習会の開催	① 互いの分館においての活動事例や取組などの情報共有を行ったことにより、各分館での夏祭りやレクリエーションなどの実施につながり、コロナ禍においても地域活動の継続が図られた。芸術文化協会の協力のもと実施した盆踊り講習会では、松島の伝統芸能である大漁唄い込み等の踊りを学び、各分館で実施する夏祭りに向けた取組となった。	① 地域活動がコロナ前の水準に戻りつつあるが、分館の実情による地域格差がまだ残っている。大漁唄い込みを後世に残していくために、学校教育からだけでなく、子どもから大人まで誰でも踊れるよう、生涯学習の推進としてもアプローチしていく。
① <b>成人式アトラクション</b> 地域の団体（松島祭連竹谷舞）に出演依頼し、成人式の式典において、すずめ踊りの演舞を披露した。	① 地域の伝統芸能で心の籠った踊りとメッセージを送り、二十歳を迎えられたお祝いに相応しいものとなった。	① 成人年齢が18歳に引き下げられたが、引き続き、「二十歳を祝う会」として式典に相応しい内容を検討しながら実施していく。
② <b>利用団体の調整と調査</b> 各施設の利用団体の実態調査を継続して実施し、会員数やサークル・団体加盟者の町内・町外の把握を行った。自主グループのPR動画を作成し、文化観光交流まつりの会場で放映した。	② 実態調査を継続して実施してきたことにより、利用団体の状況や自主サークル活動支援のための情報が得られた。活動状況などが分かる動画を放映することで住民のサークルへの理解や関心が高まった。	② サークル・団体が利用したいと思えるような施設運営をしていく。また、利用団体の活動内容の周知を行い、活動継続の支援をしていく。会員募集のツールの一つとして継続してPR動画の作成と放映を行う。
③ <b>ジュニア・リーダーの育成</b> ジュニア・リーダー活動として、定例会等12回開催するとともに各種研修会3件、二市三町合同事業3件に参加した。また、地域派遣等18件に対応した。	③ 定例会においてダンスやレクリエーション研修を通して、各種技能を高めることに努めた。新型コロナウイルス感染症が少しずつ落ち着いてきたため、地域派遣要望が増えたことにより、多くの児童と交流が図られた。	③ 派遣事業が増えてきているが、対応できる会員が固定化しているため、定例会などで会員内の情報共有を図り、個々の技術力向上を高めていきたい。



<p>③ <b>中学生リーダー研修会</b> 夫婦町である秋田県にかほ市と本町の生徒会役員の交流を行う「中学生リーダー研修会」について、新型コロナウイルス感染症のまん延状況を考慮し、オンラインで開催した。</p>	<p>③ 以前まで秋田県にかほ市で実施していた合同研修会を、オンラインで開催し、本町からは松島中学校生徒会執行部員8名、にかほ市からは3中学校（仁賀保・金浦・象潟）から生徒会役員等16名が参加し、交流が図られた。</p>	<p>③ にかほ市との夫婦町交流は、今後も継続する必要があるという考えのもと、交流を通して絆を深める事業展開を行えるよう努める。</p>
<p>④ <b>青少年健全育成町民会議と共催した取組</b> 青少年健全育成松島町民会議の役員会及び研修会の開催、会報「青少年松島」の発行や「子ども110番の家」更新作業等を行った。</p>	<p>④ 令和4年6月1日に町民会議総会を開催し21名が参加した。また、各地区推進委員の協力を得ながら、県事業等へ参画した。さらに、「子ども110番の家」については、随時更新を行った。</p>	<p>④ 青少年健全育成に関する地域課題を把握し、研修や講習会等の検討を行う。また、引き続き「子ども110番の家」の周知に努める。</p>
<p>⑤ <b>放課後子ども教室の実施</b> 放課後子ども教室を8月末からの開催し、新型コロナウイルス感染症により中止した実施日もあったが、松一小(8回)・松二小(6回)・松五小(8回)で延べ22回実施した。</p>	<p>⑤ 放課後子ども教室は、三校あわせて99名が登録し、延べ437名の児童が参加し、子どもたちの安心な居場所を提供することができた。また、学習支援と体験遊びの2本立てとし、少ないスタッフで安全な活動が行えるよう活動内容を変更した。</p>	<p>⑤ スタッフが高齢化していることから、新たな人材確保を図っていくほか、参加者のニーズを捉えながら、より魅力的な活動内容になるよう企画していく。</p>
<p>⑤ <b>こころ・はぐくみ隊パート21</b> 町内小学校低学年(1年生～3年生)の全児童に対して募集を行い、全4回の創作教室を実施した。また、創作活動で制作した作品を、文化観光交流館に展示を行った。</p>	<p>⑤ 事業には17名の申し込みがあり、参加者は楽しみながら創作活動を実施することができた。補助スタッフとしてジュニア・リーダーを活用したことにより、運営を円滑に進めることができ、保護者アンケートでは、当該事業を評価する回答が寄せられた。</p>	<p>⑤ 継続して魅力ある事業実施に努めていく。参加者のニーズに応じた実施方法やメニューを検討・実施していく。</p>
<p>⑥ <b>手樽・松島東部地域交流センターの活用</b> ・手樽地域交流センターにおいて親子工作教室 実施内容：オリジナル苔テラリウムの作成 ・松島東部地域交流センターは、福島県沖地震の被災による災害復旧のため、11月末まで閉館。教室・講座は 未実施</p>	<p>⑥ コロナ禍においても可能な対策を講じて教室を1回実施した。</p>	<p>⑥ 両センターとも老朽化等に伴い、貸出できる施設が限られてきているが、貸出できる施設を維持・管理し、有効的な活用を図っていく。</p>
<p>⑦ <b>地域学校協働活動の実施</b> 地域コーディネーターが中心となり、講師や協力ボランティアの手配など、各小中学校の支援を行い、各種地域学校協働活動を実施した。 また、教職員や地域の団体関係者などを委員とした「松島町地域学校協働本部」を立ち上げた。</p>	<p>⑦ 中学2年生を対象とした「職業人の話を聞く会」や、小学校での「大漁唄い込み」の講師等を派遣することにより、地域連携を行って学校活動を支援することができた。</p>	<p>⑦ 地域学校協働本部の活動をより推進し、円滑な地域学校協働活動事業の実施に努めていく。また、地域コーディネーターの知識・経験を活かし、事業展開を図る。</p>

基本施策4：生涯学習の推進  
**(2) 芸術文化活動の充実促進**

事業目的と概要

①音楽や芸能等の芸術鑑賞、自主的な芸術活動の推進  
 ・民間の持つ技術や知識などを活用した文化観光交流館を拠点とする文化発信事業の実施  
 ②公民館主催講座・教室の充実  
 ③芸術文化展や演奏会などの開催  
 ④自主サークルの学習活動への支援  
 ⑤社会教育施設の整備と運用の充実  
 ⑥図書室機能の充実と読書活動の推進  
 ・ボランティアによる読み聞かせや巡回図書活動の推進

事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
<p>① <b>芸術等鑑賞事業の実施</b>                      県事業である宮城県巡回小劇場を活用し、町内小学校4・5年生を対象とした演劇公演を令和4年9月28日に実施した。また、(公社)落語芸術協会主催による親子落語ワークショップを令和5年1月15日に実施した。</p> <p>② <b>公民館主催講座・教室</b>                      ・健康体操教室                      ・寄せ植え教室                      ・いろとことばあそび教室                      ・かわいい小物教室 各1回</p> <p>③ <b>芸術文化展や演奏会などの開催</b>                      新型コロナウイルス感染症対策を徹底して行い、3年ぶりの文化観光交流まつりや自衛隊ふれあいコンサートを実施した。</p> <p>④ <b>自主サークルの学習活動への支援</b>                      書道やコーラス、太鼓やヨガなど多種多様な39の自主サークル(中央公民館関係21、勤労青少年ホーム関係18)の情報提供や利用料の減免等を行った。サークルや団体のポスターやチラシの掲示などで団体のPRに努めた。</p>	<p>① 宮城県巡回小劇場においては、町内4・5年生(171名)を対象に簡単な小道具を使って物語を表現する「アニメイム」を鑑賞し、演劇に対する感性を深めた。親子落語ワークショップ(参加者42名)においては、落語を親子で体験し、日本の伝統文化である落語を堪能した。</p> <p>② 前年度までのアンケートを参考に、参加者の希望の多い健康志向の講座や作品製作の教室を実施し、コロナ禍で外出を控えていた住民が外に出るきっかけとした。感染症対策を実施し、生涯学習の機会を提供することができた。</p> <p>③ コロナ禍により芸術文化団体の活動・発表の場や町民が芸術文化に触れる機会が減少している中での開催であり、参加された町民のニーズを満たすことができた。</p> <p>④ 新型コロナウイルスの影響により自粛を続けているサークルも多いが、施設の利用は増加しつつある。</p>	<p>① 今後も継続して芸術に触れる機会を確保するため、各小学校や関係機関と連携を図り、円滑な実施に努める。様々な芸術に触れることのできるよう企画検討していく。</p> <p>② 利用者が高齢化傾向にあり、高齢者向けの講座中心となっているので、様々な世代が交流できるものを企画していく。また、ターゲットを明確にすることで指定管理者の講座との棲み分けも行う。</p> <p>③ 町民の芸術文化に対する期待が高いため、期待に沿えるように、より効果的な事業を展開していく。文化観光交流まつりについては、規模を縮小して開催したので、今後の開催方法についても検討する。</p> <p>④ 自主サークルの高齢化の問題や新規サークルが設立・活動できる環境づくりなどの工夫が必要であり、HPやSNS等を活用した情報提供を行っていく。</p>

<p>⑤ <b>社会教育施設の整備と運用の充実</b>          勤労青少年ホームや松島東部・手樽地域交流センターの維持管理や修繕等を行った。</p>	<p>⑤ 維持管理を行い、利用者の環境維持が図られた。松島東部地域交流センターは、福島県沖地震の影響により長期にわたり休館の措置をとったが、その間に利用施設の整理や清掃が実施できた。</p>	<p>⑤ 施設の老朽化に伴う不具合等を整理し、改善計画を策定するとともに、施設利用者を交えながら施設のよりよい活用方法を模索していく。</p>
<p>⑥ <b>図書室機能の充実と読書活動の推進</b>          ・春と秋にブックラリーを開催          ・巡回図書事業の実施          ・宮城県の移動図書展示会の実施          ・季節ごとのテーマブックの展示          ・蔵書点検及び整理</p>	<p>⑥ ブックラリーや移動図書展示会の実施により親子連れの利用者が増えた。巡回図書事業では、町内の教育施設との図書の共有が図られた。図書室の貸出に耐えられない蔵書の整理が進んだ。</p>	<p>⑥ 読書離れの傾向にある今日、町の図書室として読書活動の推進のため工夫した取組みを検討していく。</p>

【担当課：教育課生涯学習班・中央公民館・勤労青少年ホーム】

<p>基本施策4：生涯学習の推進  <b>(3) 国際感覚を培う生涯学習</b></p>		
<p>事業目的と概要</p>		
<p>①歴史・文化・景観をテーマとする異文化圏との交流活動の企画          ②日本遺産など歴史や文化の国内外への情報発信と交流活動の推進</p>		
<p>事業実施状況</p>	<p>事業の効果</p>	<p>事業の課題・改善策</p>
<p>① <b>異文化圏との交流活動</b>          令和4年度は実施なし。</p> <p>② <b>日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」魅力発信推進事業</b>          2月11・12日に開催された「日本遺産の日PRイベント」において、観瀾亭グッズの販売を行った。</p>	<p>② マスキングテープやクリアファイルなど廉価なものだけでなく、高価なグッズも売れ行きが良かったことや、アンケートによる意向調査など、県外・国外の顧客のニーズを把握することができた。</p>	<p>① 本町の歴史・文化等に関する交流活動を検討していく。</p> <p>② 今後増えていくであろう外国人観光客のニーズを捉え、新たな素材づくりに取り組んでいくことが求められている。</p>

5 基本施策5：町民総スポーツの推進『スポーツをととした町民の活力と地域の活性化』

【担当課：教育課生涯学習班・中央公民館】

基本施策5：町民総スポーツの推進 (1) スポーツをととした地域・世代間交流の推進		
事業目的と概要 ①分館活動等地域の協働による身近なスポーツの普及推進 ・町民ふれあいスポーツ大会の開催 ②スポーツによる他市町村との交流の企画・支援 ③秋田県にかほ市等との各種スポーツ交流の推進		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① <b>町民ふれあいスポーツ大会の実施</b> 分館長会議でコロナ禍でも開催可能な内容を協議工夫し、3年ぶりに町民ふれあいスポーツ大会を実施した	① 感染症対策に留意した大会運営や競技内容により、コロナ禍でも分館相互の交流や住民が触れ合う機会を創出することができた。	① 地区により分館の構成員に偏りがあるので、12分館対抗での運動会形式での実施や老若男女問わず参加できる競技種目の検討が必要である。選手等が安心して参加できる大会運営のため、より多くのスタッフ等の支援が必要となってきた。
② <b>みやぎスポーツDAY2022並びにB&amp;Gスポーツフェスティバル事業の参加</b> みやぎスポーツDAY2022が令和4年9月23日に開催された。また、新型コロナウイルス感染症により、B&Gマリンスポーツフェスティバルは中止となったが、令和5年2月25日にB&Gウィンタースポーツフェスティバルは規模を縮小ながらも開催することができた。	② 広く町民にスポーツ・レクリエーション活動を実践する場を提供することにより、町民のライフスタイルに応じて、スポーツ・レクリエーションに親しみ、体力向上のきっかけやライフスタイルのより一層の充実が期待できる。	② 幅広く参加者の募集を図るため、広報誌掲載やSNSを活用することにより、情報発信や周知を図り、町民が一人でも多くスポーツに親しみと興味を持ち、健康増進につながるような取組を検討・継続していく。
③ <b>にかほ市とのスポーツ交流</b> 新型コロナウイルス感染症により、にかほ市とのスポーツ交流事業は中止となった。	③ 夫婦町であるにかほ市とのスポーツ交流は、多方面で有意義なものにつながるため、スポーツを貴重なツールと捉えている。	③ スポーツを通じての貴重な交流機会が、再開及び継続できるよう関係機関との調整を行っている。

基本施策5：町民総スポーツの推進 (2) 体力づくりの推進		
事業目的と概要		
①子どもの体力・運動能力向上の推進 ②体力づくり推進の地域コーディネーターやボランティアの育成 ③スポーツ施設の効果的な活用推進による町民の健康増進		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
<p>① <b>幼児期の運動習慣のきっかけ作り・体力向上</b> 指定管理者による町立幼稚園・保育所の幼児を対象とした巡回教室（からだづくり運動やボール運動、プールの水慣れなど）を定期的で開催した。</p> <p>② <b>スポーツ推進委員によるスポーツ団体の活動支援並びに指定管理者による体力づくり推進</b> スポーツ推進委員を派遣し、グランドゴルフ大会の審判員として活動支援を実施した。また、指定管理者による各種自主事業の実施により体力づくり活動等が実施された。</p> <p>③ <b>指定管理者制度による管理運営</b> 指定管理者による町管理施設の維持管理を行った。指定管理施設は、松島運動公園(多目的広場・野球場等)、温水プール、B&amp;G海洋センター、町民グラウンドの各施設について、指定管理契約をしている状況である。</p>	<p>① 町内の全幼稚園・保育所で教室を開催し、幼児の体力・運動能力向上に寄与することができた。幼児からスポーツに親しむ機会を設けることで、スポーツ人口の向上が期待できる。</p> <p>② スポーツ推進委員の派遣により、スポーツ事業の活動支援が図られた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種スポーツ事業が中止となりスポーツ推進委員の派遣機会が減少した。指定管理者による各種自主事業の実施によりスポーツ機会や体力づくり推進が図られた。</p> <p>③ 指定管理者のノウハウを活かし、施設管理と運営を行うことにより、利用者等が快適にスポーツを楽しむ環境整備が図られた。</p>	<p>① 幼児の体力・運動能力向上を図っていくために、指定管理者等と連携を図り、継続して巡回教室を実施していく必要がある。</p> <p>② 今後の活動を見据えて、スポーツ推進委員の活動機会を増やす事業展開に努めていく。また、指定管理者が実施する各種事業においても連携を図りながら継続した取組を支援していく。</p> <p>③ 建築年数の経過に伴い、修繕が必要な箇所も増加傾向にあるため、適正な維持管理を継続して行う必要がある。利用者が安全安心に利用できることを考え不具合箇所等を計画的に改修できるよう努めていく。</p>

【担当課：教育課生涯学習班】

基本施策5：町民総スポーツの推進 <b>(3) 観るスポーツの推進</b>		
事業目的と概要		
①レベルの高いスポーツ大会の開催・招致 ②一流アスリートの招致によるスポーツ教室の開催		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① <b>全日本実業団対抗女子駅伝競走大会の円滑な事業運営と運営補助</b> 令和4年11月27日に、文化観光交流館前をスタート地点とした全日本実業団対抗女子駅伝競走大会が実施された。	① 本町が大会のスタート地点として開催されることから、一流アスリートを間近に見ることができ、スポーツへの関心を高めることができた。	① 松島町体育協会や関係機関と連携し、今後も主催者に継続してコース設定としてもらえるよう環境整備に努める。
② <b>一流アスリートの招致によるスポーツ教室の開催</b> サッカーJリーグのホームタウン活動の一環として、ベガルタ仙台の選手が松島第一小学校を訪問し、5年生の子どもたちと交流を図った。	② 一流アスリートとの交流をして、よりスポーツへの興味・関心を深めることができた。	② 今後も県内スポーツチームとふれあう機会を積極的に見つけ、交流を図っていく。

【担当課：教育課生涯学習班】

基本施策5：町民総スポーツの推進 <b>(4) スポーツをとoshした心と体の健康</b>		
事業目的と概要		
①高齢者向けスポーツ教室の検討及び実施 ②障がい者向けスポーツ教室の検討及び実施		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① <b>高齢者を対象としたスポーツ</b> 指定管理者の事業として実施	① ニュースポーツであるベタンクやいきいき健康教室を実施し、高齢者の健康増進に寄与した。	① 指定管理者と連携し、教室内容の充実と参加者の増加に努めていく。
② <b>障がい者向けスポーツ教室</b> 令和4年度は実施なし。	② スポーツを通じて障がい者への理解を得ることができる。インクルーシブ施設が増える可能性がある。	② 障がい者スポーツ種目も増えており、町管理施設で障がい者スポーツ教室開催可否や、障がい者スポーツの理解・啓発の仕組み作りの検討が必要と考える。

## 第4章 学識経験者による意見

### 令和5年度（令和4年度対象）松島町教育委員会教育行政点検評価報告書についての意見書

学識経験者 佐藤 実

#### I はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することを義務づけられています。

その目的は、教育委員会が的確で効果的な教育行政を推進しているかどうかについて、地域住民に対し詳細を明らかにし、その報告を通して、地域住民が地域の学校教育や社会教育に意識を持って関わっていくというものです。

本報告書の評価を行うにあたって、松島町教育振興基本計画（平成25年3月策定）に基づき実施した取組内容を点検評価し、本町教育の目指す姿である『誇りと絆を育みしなやかに生きる松島人』に近づくために、地域性や教育現場の実態を的確に捉え、教育計画に具体的に位置づけ、取り組んでいることを評価します。

#### II 基本施策毎見解

##### 1 基本施策1：幼児教育の充実

- ・元気な心と体の育成を目指して、諸団体と連携しボール遊びや英語遊び等をしたり、園独自で様々な活動を工夫して実践したことは評価できます。体験的な活動は、豊かな心を育み、生きる力の基盤づくりに寄与します。今後も、継続されることを期待します。
- ・幼保共同でのアプローチカリキュラムの研究や幼保小が連携して小学校の授業の見学会を実施するなど、町全体で「幼・小・中を通した12年教育」を見通した取り組みを行っていることは、「小1プロブレム」などの問題にも対処できており、自己実現の基礎を培う上で効果的であった。今後も成果と課題を検証しながら継続して取り組むことを期待します。
- ・特別支援の早期体制づくりと連携については、臨床心理士のサポートを受け、教師のスキルアップと園全体の支援体制の見直しに務めたこと、さらに、教諭や保育士がのびっこクラブにおいて保護者の困りごと支援に務めて来たことなど、大変評価できます。今後も継続することを期待します。
- ・各園の教育活動をホームページで積極的に発信することで、保護者との情報共有が行われ、親子間の話題づくりに効果を発揮したようです。さらに、保護者はもとより広く町民からも信頼を得たものと判断できます。
- ・保護者の実情に合わせて預かり保育を実施し、延べ人数では、昨年度よりも多く利用されたことは評価できます。今後も、保護者のニーズに寄り添った支援体制の充実を願います。
- ・小学校の交通安全教室や避難訓練等に参加するなど、まつしま防災学(幼児期)を計画的に実践していること、さらに、職員全員で危険箇所を巡視し安全の確保に努めていることは、大いに評価できます。今後もマンネリ化しないように新たな視点も検討しながら、定期的の実施し、危険箇所の早期発見を期待します。

##### 2 基本施策2：学校教育の充実

- ・加配教員を活用して、少人数指導、TT指導、教科担任制、補助支援員のサポート等を実施し、きめ細やかな指導ができたことは、学力調査結果に見られるように効果があったと考えます。今後とも、その裏付けとなる教師一人一人のスキルアップと共に、地道な黒板の構造化やノート指導に取り組むことを期待します。

- ・通級指導担当や補助支援員と担任が連携を深め、特別な支援が必要な児童生徒一人一人に寄り添い、適切な指導・支援を充実させていただくことを期待します。今後も、特別支援教育連絡協議会等での情報交換を密にされ、個々の児童生徒に応じた支援について、学校全体で共通理解が図られるよう願います。
- ・ICT活用研修会や小中学校のICT推進委員会を定期的実施し、教員の指導力の向上に努めたこと、また、にかほ市との教育交流をオンラインで行なうなど、ICTの活用が意欲的に実践されていることを評価します。
- ・ICT支援員による児童生徒への教育支援や教員への研修会の実施により、教員のスキルが高まり、自信を持って指導できるようになり、教育活動への活用頻度が大きく向上したことは、大変評価できます。
- ・「子ども国際観光科」において、専科やALTの活用を図り、異文化理解や国際感覚の醸成に努めたことを評価します。国内有数の観光地で、外国人の観光客も多い松島の特色ある教科として充実させることを切望します。
- ・地域に開かれた学校（コミュニティ・スクール）への転換については、学校運営協議会と地域学校共同本部が連携して、地域を巻き込んだ活動をする中で、特色ある学校づくりが推進されることが期待できます。今後は、生徒会執行部にも運営協議会で意見を述べる機会を設けたいとのこと、ぜひ検討されることを期待します。
- ・学校と、スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）、子どもの心のケアハウスの関係者などが連携を密にして、不登校児童生徒の学校復帰や自立支援に取り組まれたことは大いに評価できます。さらなる不登校児童生徒を出さないという姿勢で、全職員が一丸となり取り組まれることを期待します。
- ・松島町いじめ重大事態対応マニュアルを作成し、各校で重大事態に適切に対応する組織体制を整備したことは、大変評価できます。今後も、どんないじめに対しても常に危機意識を持って、対応されるよう切望します。
- ・「松島まるごと学」は、地域の歴史や学区内の貴重な文化財、伝統行事など、日頃にはできない体験を身近に感じ、自分の故郷・松島を見つめ直すよい機会になったと考えます。また、中学生を対象とした「職業人の話を聞く会」は、松島町の未来、発展、そして自分の将来について考えるよい機会だったと考えます。今後も、松島町の将来を担う子供たちですので、継続して学習されることを期待します。
- ・「まつしま防災学」は、幼児教育から発達段階に応じた取り組みをしている県下に誇れるものです。中学生が小学生に対して減災教室を開くなど、生徒の主体的な活動が、一人一人の減災意識の向上につながるものと期待できます。今後は、防災、減災に関する知識や実践力が高まるよう、マンネリ化しないよう新たな視点も加えながら、松島ならではの指導（地震、津波、風水害、土砂災害などの災害に対応した指導）を期待します。

### 3 基本施策3：地域文化の継承と創造

- ・「親子縄文土器づくり」や学校・関係機関と連携を図り「松島まるごと学」等の事業をとおして、ふるさと松島に対する興味と感心を深め、郷土愛を育むことができたことは大いに評価できます。
- ・広報まつしま及び町公式FacebookやHPを活用して文化財関連情報を周知したり、各種展示では、アインシュタイン来町100周年や北海道・北東北の縄文文化遺跡群の展示など、時宜にかなった大変有意義な展示をするなど、大いに評価できます。
- ・ガイド養成講座と小中学生対象のガイドツアーは、観光地・松島ならではの事業であり、今後も長く継続していくよう期待します。

### 4 基本施策4：生涯学習の推進

- ・各分館の活動や自主サークルの活動を支援するため、講習会を開催したり、PR動画を作成するなど、町民の自主的な活動を継続的に支援していることは、大変評価できます。
- ・前年度に出来なかったジュニア・リーダーの定例会や研修会を開催し、地域派遣も行うことができました。特に、リーダー養成研修は本町の次代を担うリーダーの育成につながりますので、今後も継続していくべき大切な事業と考えます。



- ・放課後子ども教室を実施して、子どもの安全な居場所作りに努めたことは、大いに評価できます。今後は、より魅力的な活動内容になるよう、改善に努めるよう期待します。
- ・県や公社を活用しての音楽公演会や親子落語ワークショップ、そして3年ぶりの文化観光交流まつり等を実施したことは、芸術・文化に触れ、町民の豊かな心を育む事業であり、今後も継続していきたい事業です。

#### 5 基本施策5：町民総スポーツの推進

- ・3年ぶりの町民ふれあいスポーツ大会、B&Gウインタースポーツフェスティバルの開催は、分館相互の交流や地域住民の触れ合う極めて有意義な機会となったことは、大変評価できるものであり、今後も継続したい事業です。
- ・町内の幼稚園・保育所からだづくり巡回教室を定期的実施したことは、運動能力の向上のみならず、生涯にわたる運動習慣への大切なきっかけ作りとなる事業ですので、今後も工夫を凝らしながら継続していただくよう期待します。
- ・全日本実業団女子駅伝競走大会に出場する一流アスリートを間近に見ることにより、スポーツへの関心を高めることができたことは評価できます。今後も継続してレベルの高いスポーツ大会の開催と招致を期待します。
- ・高齢者を対象としたスポーツ教室の開催は、高齢化率の高い本町ですので、生きがいを持って元気に運動できるよう、内容の充実と参加の周知の工夫を期待します。さらに、障がい者向けスポーツ教室は、インクルーシブ社会にあって、住民の意識の変革にも寄与するものであり、広く啓発を期待します。

### Ⅲ おわりに

近年、グローバル化は私達の社会に多様性をもたらし、また、急速な情報化や技術革新は人間生活を質的にも変化させています。こうした社会的変化の影響が、身近な生活を含め社会のあらゆる領域に及んでいる中で、教育の在り方も新たな事態に直面しています。

学校教育においては、確かな学びの保障、教育機会の確保。そして、根強く存在するいじめや不登校の問題。さらに、不審者や異常気象によって児童生徒の生命の安全が脅かされる事態等、深刻な課題も山積しております。それらの課題を解決するための教師の力量、教師集団のチームワーク力も、これまで以上に問われています。

このような時だからこそ、地域住民の方々のご理解とご支援をいただき、教育委員会・学校が保護者と連携し、同じ教育方針のもと協力し合い信頼関係を築くことが最も大切です。その上で、学校では児童・生徒が主体的に考え、行動できる「しなやかで力強く生き抜く子どもたち」を育てていただくことを切望します。

社会教育・生涯学習においては、コロナ禍の3年間で、従来型の事業形態に加え、各種SNS等を活用した学習機会・情報の提供などに取り組んできました。今年度は、コロナ禍前のように開催できた事業が多く、大きな成果を上げました。今後とも、高齢化社会の中で、町民一人一人が元気で生きがいを持って生活できる町民の学び・集いの場として、今後も社会教育・生涯学習のあり方を模索していただくことを期待します。

令和 5 年度（令和 4 年度対象）  
松島町教育委員会教育行政点検評価報告書

令和 5 年 9 月 発行

発行：松島町教育委員会  
教育長  
教育長職務代理者  
委員  
委員  
委員

内 海 俊 行  
鈴 木 康 夫  
安 倍 七 恵  
佐 藤 晴 子  
小 澤 晴 司

意見：学識経験者

佐 藤 実

編集：松島町教育委員会 教育課 学校教育班

〒981-0215

宮城県宮城郡松島町高城字婦命院下一19-1

TEL：022-354-5713 FAX：022-354-3140

URL：<http://www.matsushima.ed.jp/>